



---

## Solaris 7 - 8/99 ご使用にあたって (Intel 版)

---

Sun Microsystems, Inc.  
901 San Antonio Road  
Palo Alto, CA 94303  
U.S.A. 650-960-1300

Part No: 806-1211-10  
1999 年 9 月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

RESTRICTED RIGHTS: Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions of FAR 52.227-14(g)(2)(6/87) and FAR 52.227-19(6/87), or DFAR 252.227-7015(b)(6/95) and DFAR 227.7202-3(a).

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョーベイマックス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, OpenWindows, SunOS, AnswerBook2, docs.sun.com, Solaris Web Start, Java, JDK, JumpStart, NFS, HotJava, Solstice AdminSuite, Solstice AutoClient, DiskSuite, SunLink, Ultra, XGL は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Netscape と Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社で開発されたソフトウェアです。(Copyright OMRON Co., Ltd. 1999 All Rights Reserved.)

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

ATOK8 は株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DtComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(Copyright (c) 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Solaris 7 8/99 (Intel Platform Edition) Release Notes

Part No: 806-1152-10

Revision A

© 1999 by Sun Microsystems, Inc.



# 目次

---

はじめに vii

## 1. Solaris 7 - 8/99 の構成 1

製品の種類と出荷形態 1

「Solaris 7 - 8/99 デスクトップ製品」および「Solaris 7 - 8/99 サーバー製品」の構成 1

Solaris 7 - 8/99 Software CD (Intel 版) 1

Device Configuration Assistant (デバイス構成用補助) フロッピーディスク 2

Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版) 3

Solaris 7 - 8/99 Documentation CD 3

Netscape Communicator 4.51 CD (日本語版) 3

Solaris 7 インストールの手引き 4

Solaris 7 - 8/99 ご使用にあたって (Intel 版) (本書) 4

Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版) 5

Solaris 7 (Intel Platform Edition) Hardware Compatibility List 5

Solaris 7 デバイスの構成 (Intel 版) 6

日本語入力用図形文字コード表 6

Binary Code License (ソフトウェア使用許諾契約書) 7

Binary Code License (Terms & Conditions) 7

- 2. インストールにあたって 9
  - カスタマサポートへの連絡 10
  - 必要なメモリー 10
  - 必要なスワップ領域 10
  - 必要なディスク容量 11
    - Solaris Software CD のソフトウェア容量 11
    - Solaris Documentation CD のソフトウェア容量 12
    - Netscape Communicator CD のソフトウェア容量 15
  - 日本語環境のインストール方法 15
    - デフォルトロケールの設定 16
    - インストール言語の設定 17
  - オンラインリリース情報 18
    - 参照方法 19
    - インストール方法 19
- 3. インストールに関する注意事項とバグ情報 21
  - Solaris 7 - 8/99 インストールの注意事項とバグ情報 21
    - Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報 22
    - 対話式インストールに関する注意事項とバグ情報 24
    - アップグレードに関する注意事項とバグ情報 26
    - インストール全般に関するバグ情報 32
    - AnswerBook2 に関するバグ情報 34
    - Solstice AutoClient に関する注意事項 34
    - ハードウェアに関するバグ情報 35
  - Solaris 7 - 8/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有) 35
    - Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報 35
    - アップグレードに関する注意事項とバグ情報 38
    - インストール全般に関する注意事項とバグ情報 40
- 4. 実行時の注意事項とバグ情報 45

	Solaris 7 - 8/99 実行時の注意事項とバグ情報	45
	Solaris CDE に関するバグ情報	46
	システム管理に関するバグ情報	46
	リモートコンソールに関するバグ情報	47
	ファイルシステムに関するバグ情報	50
	JDK (Java Development Kit) に関する注意事項とバグ情報	50
	AnswerBook2 に関するバグ情報	51
	Solaris 実行時バグ情報	52
	Solaris 7 - 8/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)	53
5.	製品の中止情報	55
	サポート中止予定のソフトウェア	55
	sysidnis (1M) システム認識プログラム	55
	XIL	55
	Intel 版 Solaris オペレーティング環境のコンソールサブシステムが入れ替わる	56
6.	マニュアルに関する情報	59
	マニュアル中の訂正事項	59
	『Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版)』 (バグ ID : 4211128)	59
A.	<b>Maintenance Update</b> パッチリスト (Intel 版)	61
	パッチリスト	61
B.	<b>Hardware Compatibility List (Intel Platform Edition) Solaris 7 3/99, 5/99, 8/99</b>	73
	Solaris 7 5/99 Hardware Compatibility List	73
	ビデオデバイスのサポート	73
	Solaris 7 3/99 Hardware Compatibility List	74
	ビデオデバイスのサポート	74
C.	デバイスの構成 (Intel 版) Solaris 7 - 3/99, 5/99, 8/99	77
	Solaris 7 8/99	77

Adaptec AHA-2940U2B, 2940U2W, 2940U2/OEM, 2950U2B, 3950U2B  
HBA 77

LSI Logic (旧 Symbios Logic または NCR) 53C810, 53C810A, 53C815,  
53C820, 53C825, 53C825A, 53C860, 53C875, 53C875J, 53C876, 53C895  
HBA 80

Solaris 7 5/99 83

LSI Logic (Symbios) 64 ビット PCI デュアルチャネル Ultra2 SCSI  
53C896 HBA 83

Solaris 7 3/99 84

物理アドレス拡張 (PAE) モード 84

PAE モードのサポートを無効にする 85

## はじめに

---

本書『Solaris 7 - 8/99 ご使用にあたって (Intel 版)』は、Solaris™ 7 - 8/99 をご使用になるにあたって最初に読んでいただくマニュアルで、今回のリリースに関する最新情報が記述されています。

本書では、Solaris 7 - 8/99 オペレーティング環境ソフトウェアをインストールする前に必要な情報、リリース直前に明らかになった情報や問題点を中心に説明します。

Solaris 7 - 8/99 リリースに関するマニュアルとして、本書の他に『オンラインリリース情報』がオンラインのテキスト形式で提供されています。『オンラインリリース情報』については、18ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

---

注 - 本書の第3章は、『オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイル中の内容よりも優先されます。

---

注 - 今回の Solaris の製品名称は「Solaris 7 - 8/99」ですが、コード、パス名、パッケージパス名などで、「Solaris 2.7」または「SunOS 5.7」という名称が使用されていることがあります。コード、パス、パッケージパスなどを実際に入力または使用するときには、必ずマニュアル中に記述されている名称に従ってください。

---

---

## 対象読者

本書は、Solaris 7 - 8/99 ソフトウェアをインストールして使用する方を対象としています。Solaris についての知識を持つ方、現在習得中の方を対象としています。

---

## 内容の紹介

本書は、次のように構成されています。

第 1 章では、Solaris 7 - 8/99 に含まれるデスクトップ用およびサーバー用の CD やマニュアルの構成について説明します。

第 2 章では、Solaris 7 - 8/99 をインストールするために必要なメモリーおよびディスクの容量、日本語環境のインストールについての概要などを説明します。この章の内容を理解してから、インストールを開始してください。

第 3 章では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルの内容を修正および追加した、インストールに関する注意事項とバグの最新情報を説明します。この章の内容を理解してから、インストールを開始してください。

第 4 章では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `runtime_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、実行時の注意事項やバグの情報を説明します。

第 5 章では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `eof` ファイルを作成後に明らかになった、サポートを終了するソフトウェアの機能またはハードウェアについて説明します。

第 6 章では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `documentation_issues` ファイルを作成後に明らかになった、マニュアル中の訂正または補足事項について説明します。

付録 A では、Solaris 7 - 8/99 に統合されているパッチ (Maintenance Update パッチ) のリストを記載しています。

付録 B では、Intel 版 Solaris 7 - 8/99 でサポートされるハードウェアについて、『Solaris 7 (Intel Platform Edition) Hardware Compatibility List』を補足する情報を記載しています。



付録 C では、Intel 版 Solaris 7 - 8/99 環境でサポートされるハードウェアデバイスについて、『Solaris 7 デバイスの構成 (Intel 版)』を補足する情報を記載しています。

Solaris のほかに付属のソフトウェアをインストールする場合は、付属ソフトウェアに含まれている最新リリース情報を参照して、そのソフトウェアに関する注意事項およびバグ情報を確認してください。

---

## 関連マニュアル

Solaris をインストールするには、本書の内容を理解した上で、次のマニュアルをご利用ください。

- 『オンラインリリース情報』(18ページの「オンラインリリース情報」の説明をご覧ください)
- 『Solaris 7 インストールの手引き』
- 『Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版)』
- 『Solaris 7 のインストール (追補)』
- 『Solaris 7 のシステム管理 (追補)』
- 『Solaris 7 のソフトウェア開発 (追補)』

Solaris のマニュアルは、このリリースに含まれる Solaris 7 - 8/99 Documentation CD で提供されています。

また、Solaris 7 - 8/99 の新機能について説明しているマニュアルも提供されています。これらのマニュアルは、タイトルに (追補) と示されています。

---

注 - 『Solaris 7 (Intel Platform Edition) Hardware Compatibility List』および『Solaris 7 デバイスの構成 (Intel 版)』中の情報は、Solaris 7 - 8/99 リリースで更新されています。それぞれ本書の付録 B および付録 C に、最新の情報が記載されています。

---

ハードウェア構成によっては、インストールを行うために別途作業が必要になることがあります。ハードウェア固有の作業が必要な場合は、各ハードウェアのメーカーからインストール手順を補足する資料が提供されています。それらの資料も利用して、インストールを行なってください。

---

## Solaris ハードウェア検証プログラム

Solaris ハードウェア検証プログラムに関する情報は、  
<http://soldc.sun.com/support/certify/program.html> をご覧ください。  
Solaris の次期リリースまでにハードウェア互換リストが変更されることがあります。  
最新のハードウェア互換リストは、  
<http://soldc.sun.com/support/drivers/hcl/hcl.html> に提供されます。

---

## Sun のマニュアルの注文

Sun Software Shop プログラムを利用して、米国 Sun Microsystems, Inc. (以降、Sun とします) のマニュアルまたは AnswerBook2™ CD をご注文いただけます。

マニュアルのリストと注文方法については、  
<http://www.sun.com/software/shop> を参照してください。

---

## Sun のオンラインマニュアル

<http://docs.sun.com> では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。

---

## 表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、またはコード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。  system%
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	system% <b>su</b> password:
AaBbCc123	変数を示します。実際に使用する特定の名称または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
[ ]	参照する章、節、ボタンやメニュー名、または強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合、バックスラッシュは継続を示します。	sun% <b>grep '^#define \ XV_VERSION_STRING'</b>

ただし AnswerBook2™ では、ユーザーが入力する文字と画面上のコンピュータ出力は区別して表示されません。

コード例は次のように表示されます。

■ C シェルプロンプト

```
system% command y|n [filename]
```

■ Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

■ スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[ ]は省略可能な項目を示します。上記の場合、*filename* は省略してもよいことを示します。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。



---

**注意** - この記号が付いている注意事項に従わない場合は、データ、システム、関連機器などの損傷を起こす可能性があります。

---

## 一般規則

- 「x86」という用語は、一般に Intel 8086 ファミリに属するマイクロプロセッサを意味します。これには、Pentium、Pentium Pro、Pentium II、Pentium II Xeon、Pentium III、Celeron の各プロセッサ、および AMD、Cyrix が提供する互換マイクロプロセッサチップが含まれます。このマニュアルでは、このプラットフォームのアーキテクチャ全体を指すときに「x86」という用語を使用し、製品名では「Intel 版」という表記で統一しています。

## Solaris 7 - 8/99 の構成

---

この章では、Solaris 7 - 8/99 リリースに含まれている CD および印刷マニュアルについて説明します。

---

### 製品の種類と出荷形態

Solaris 7 - 8/99 は、「Solaris 7 - 8/99 デスクトップ製品」と「Solaris 7 - 8/99 サーバー製品」の 2 つの製品構成で提供されます。

---

### 「Solaris 7 - 8/99 デスクトップ製品」および「Solaris 7 - 8/99 サーバー製品」の構成

「Solaris 7 - 8/99 デスクトップ製品」および「Solaris 7 - 8/99 サーバー製品」の構成について、概要を説明します。

### Solaris 7 - 8/99 Software CD (Intel 版)



この CD には、主に次のソフトウェアが含まれています。他のどの CD よりも先にインストールしてください。

■ Solaris 7 - 8/99 オペレーティング環境

SunOS™、Solaris 共通デスクトップ環境 (以降、Solaris CDE と表記します)、OpenWindows™ ソフトウェア、日本語入力システム (Wnn6、ATOK8、cs00) などが含まれます。

インストールするには：まず初めに、本書に書かれている既知の問題について確認してください。次に、『Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版)』の「インストールの手順」を参照してください。

■ オンラインリリース情報

インストールに関する注意事項とバグ情報、実行時のバグ情報、最新情報、パッチ情報、ドライバ更新情報、サポートされなくなった製品の情報を、オンラインのテキストファイルで提供します。

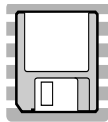
---

注 - Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれているオンラインリリース情報は、Solaris 7 - 5/99 のオンラインリリース情報の内容と同じです。

---

参照するには：18ページの「オンラインリリース情報」の説明をご覧ください。

## Device Configuration Assistant (デバイス構成用補助) フロッピーディスク



この構成用補助フロッピーディスクは、x86 システムまたは Pentium プロセッサを搭載したシステムのブートに使用します。

インストールするには：『Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版)』の「インストールの手順」を参照してください。

## Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版)



この CD には、AnswerBook2 文書サーバーソフトウェアと、日本語のオンライン文書コレクションおよびいくつかの英語のオンライン文書コレクション (日本語に翻訳されていない文書を含むもの) が含まれています。

詳細は、表 2-2 を参照してください。

インストールするには: この CD に含まれる README\_ja.html をお読みください。

## Solaris 7 - 8/99 Documentation CD



この CD には、AnswerBook2 文書サーバーソフトウェアと、英語およびヨーロッパ言語のすべての AnswerBook オンライン文書コレクションが含まれています。

Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版) に含まれていない英語のオンライン文書コレクションを参照したい場合にご利用ください。

詳細は、表 2-3 を参照してください。

インストールするには: この CD に含まれる README\_en.html をお読みください。

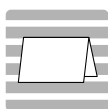
## Netscape Communicator 4.51 CD (日本語版)



この CD には、日本語版の Netscape Communicator 4.51 が含まれています。Solaris Web Start 1.0 によって、デフォルトで Solaris 7 - 8/99 ソフトウェアと同時にインストールされます。

インストールするには: この CD に含まれる readme\_ja.txt をお読みください。

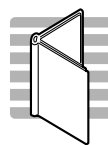
## Solaris 7 インストールの手引き



インストールを始めるにあたって参照するカードです。従来の対話式インストールを行うか、または Solaris Web Start 1.0 インストールを行うかを選択し、それぞれを使用してインストールを行う手順が説明してあります。また、マニュアルの注文方法および Web ブラウザでの参照方法についても説明しています。

インストールに際しては、本書の第 2 章および第 3 章も必ずお読みください。

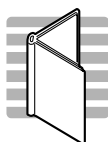
## Solaris 7 - 8/99 ご使用にあたって (Intel 版) (本書)



インストールに関するバグ情報や注意事項を中心に説明しています。また、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』を作成後に明らかになった、バグ情報、最新情報、サポートを中止する予定の製品の情報などを提供します。



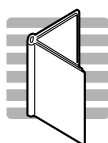
## **Solaris 7** インストールライブラリ (*Intel* 版)



Solaris 7 ソフトウェアのより高度なインストール (以前の Solaris リリースからのアップグレードなど) を行うために必要となる情報を提供します。次の章で構成されています。

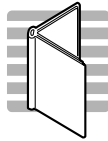
- 「インストールの手順」
- 「新規機能一覧」
- 「新規機能の概要」
- 「Solaris Web Start の使い方」
- 「既存のオペレーティングシステムとユーザーデータの保存」
- 「システムのアップグレード」
- 「インストール時の問題解決」
- 「インストール後のソフトウェアの追加と削除」
- 「オンライン文書へのアクセス」
- 「CUI インストールの日本語訳」

## **Solaris 7 (Intel Platform Edition) Hardware Compatibility List**



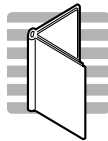
Solaris 7 でサポートされる一般的な x86 ハードウェアについて、要件、周辺機器、システムプラットフォームの情報を提供します。

## **Solaris 7** デバイスの構成 (*Intel* 版)



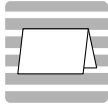
Intel 版 Solaris 7 の Device Configuration Assistant (構成用補助) ソフトウェア、メーカーのデバイス構成媒体およびマニュアル、デバイス参照情報ページを使用して、x86 デバイス上で Solaris オペレーティング環境が動作するようにシステムを構成したり、構成時の問題を解決したりする方法について説明しています。

## 日本語入力用図形文字コード表



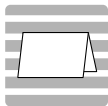
Solaris 7 オペレーティング環境で日本語入力システムを使用して図形文字を入力するための、コードと図形文字の対応、ja\_JP.PCK および ja\_JP.UTF-8 ロケール利用時の注意事項を説明しています。

## Binary Code License (ソフトウェア使用許諾契約書)



ソフトウェア使用の許諾に関する記述が含まれています。

## Binary Code License (Terms & Conditions)



上記の「ソフトウェア使用許諾契約書」に対する補足条項が含まれています。



## インストールにあたって

この章では、Solaris 7 - 8/99 をインストールするために必要なメモリーおよびディスクの容量、日本語環境のインストールについて説明します。また、本書を作成する前の情報が書かれている『オンラインリリース情報』のインストール方法および参照方法についても説明します。

注 - 本章の内容を理解してからインストールを開始してください。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の installation\_bugs ファイルの内容よりも優先されます。オンラインリリース情報については、18ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

以下に、Solaris 7 - 8/99 で提供されるインストール方法を簡単に説明します。

インストール方法	説明
従来の対話式インストール Jump Start™ カスタム Jump Start	Solaris ソフトウェアだけをインストールする。 (Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている)
Solaris™ Web Start 1.0	Solaris ソフトウェアおよび同梱の CD に含まれる別ソフトウェアを一度に容易にインストールできる。 (Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている)
Solaris Web Start 2.0 (installer)	Solaris がインストールされた環境に、同梱の CD に含まれる別ソフトウェアを共通のユーザーインタフェースで容易にインストールできる。 (同梱の CD に含まれている)

---

## カスタマサポートへの連絡

サポートに関連する問題については、ご購入先にお問い合わせください。また、Sun についての情報は、以下の Web ページをご覧ください。

- <http://access1.sun.com>
- <http://www.sun.com>
- <http://www.sun.co.jp> (サン・マイクロシステムズ株式会社)

---

## 必要なメモリー

32M バイト以上の物理メモリーが必要です。Solaris CDE や OpenWindows などの日本語デスクトップ環境を使用する場合には、64M バイト以上確保することをお勧めします。

また、Solaris Web Start 1.0 によるインストールを日本語表示で行うには、最小 64M バイトの物理メモリーが必要です。詳細は、35ページの「システムの最小要件」を参照してください。

---

## 必要なスワップ領域

スワップ領域は、実メモリーとの合計が少なくとも 64M バイトになるように確保することを推奨します。さらに、日本語デスクトップ環境を使用する場合には、実メモリーとの合計が 128M バイト以上になるように確保してください。

---

注 - 物理メモリーが 64M バイト未満のシステムに、従来の対話式インストールでファイルシステムの自動配置を行なった場合に確保されるスワップ領域は、上記の要件を満たしていません。この場合は、手動でサイズを変更してください。

---

## 必要なディスク容量

今回のリリースで標準提供される Solaris Software CD、Solaris Documentation CD、Netscape Communicator CD をインストールするのに必要なディスク容量について説明します。

上記のソフトウェアをシステムにインストールするには、インストールするソフトウェアとディスクの構成によってファイルシステムを構築する必要があります。

Solaris Web Start 1.0 (Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている) を使うと、Solaris オペレーティングシステムおよび同梱の別ソフトウェアをインストールするためのファイルシステムが自動的に配置され、これらの CD を一度に容易にインストールすることができます。

一方、従来の対話式インストール<sup>1</sup>では、Solaris オペレーティングシステムだけをインストールするように設計されているので、同梱のソフトウェア容量も考慮したファイルシステムの自動配置を行うことはできません。

同梱のソフトウェアもインストールする場合には、それらのソフトウェア容量を考慮してファイルシステムを手動で構成する必要があります。そして、Solaris オペレーティングシステムのインストール終了後に、同梱の CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) または、各ソフトウェアのインストール手順に従って、同梱のソフトウェアをインストールしてください。

なお、Solaris Easy Access Server 3.0 をご利用になる場合、含まれている各製品のソフトウェア容量については、『Solaris Easy Access Server 3.0 インストールライブラリ』を参照してください。

## Solaris Software CD のソフトウェア容量

次の表は、Solaris 7 - 8/99 オペレーティングシステム (日本語版) だけをインストールするために必要なディスク容量を、インストールするロケール別に示しています。記載されている値は、必要な容量の推奨値 (カッコ内は最小値) です。また、スワップ領域に必要な容量は含まれていません。

なお、従来の対話式インストールで「ソフトウェアの選択」画面に実際に表示される各ソフトウェアグループの値は、スワップ領域を含んだ値で、インストールするシステムのディスクやメモリーのサイズによって異なります。

---

1. システムが Solaris Web Start 1.0 を実行するための要件を満たしていない場合、またはアップグレードや細かいインストール設定を行いたい場合などには、従来の対話式インストールを行う必要があります。

表 2-1 Solaris 7 - 8/99 Software CD (Intel 版) のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ソフトウェアグループ	必要な容量の概算推奨値 (カッコ内は最小値)			
	ja(EUC) のみ	PCK のみ	UTF-8 のみ	全部
全体ディストリビューション	849 (723)	849 (723)	857 (731)	904 (770)
/	48 (40)	48 (40)	48 (40)	48 (40)
/usr	785 (667)	785 (667)	793 (675)	840 (714)
/opt	16 (16)	16 (16)	16 (16)	16 (16)
開発者システムサポート	802 (676)	794 (668)	802 (676)	849 (715)
/	48 (40)	48 (40)	48 (40)	48 (40)
/usr	738 (628)	730 (620)	738 (628)	785 (667)
/opt	16 (8)	16 (8)	16 (8)	16 (8)
エンドユーザーシステムサ ポート	480 (401)	472 (401)	480 (401)	504 (425)
/	40 (32)	40 (32)	40 (32)	40 (32)
/usr	424 (361)	416 (361)	424 (361)	448 (385)
/opt	16 (8)	16 (8)	16 (8)	16 (8)

## Solaris Documentation CD のソフトウェア容量

Solaris 7 - 8/99 では、日本語版と英語+ヨーロッパ言語版の、2 種類の Documentation CD が提供されます。

日本語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版)」には、日本語の AnswerBook パッケージおよび一部の英語の AnswerBook パッケージ (日本語に翻訳されていない文書コレクションを含むもの) が含まれており、すべての日本語ロケールで共通なパッケージとなっています。

英語+ヨーロッパ言語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 8/99 Documentation CD」には、英語およびヨーロッパ言語のすべての AnswerBook パッケージが含まれています。

次の表に、「Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版)」に含まれているパッケージとその容量を示します。これらのパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。



表 2-2 Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版) のソフトウェア容量  
(単位: M バイト)

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
[日本語]			
SUNWjinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection - Japanese	7
SUNWjabe	AB2	Solaris 7 User Collection - Japanese	53
SUNWjaadm	AB2	Solaris 7 System Administrator Collection - Japanese	49
SUNWjabsd	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection - Japanese	25
SUNWjdad	AB2	Solaris Common Desktop Environment 1.3 Developer Collection - Japanese	20
SUNWamaja	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection - Japanese	40
SUWjopen	AB2	OpenBoot Collection - Japanese	7
[英語]			
SUNWinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection	4
SUNWabsdk	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection	21
SUNWaman	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection	87
SUNWakcs	AB2	KCMS AnswerBook	2
SUNWaxg	AB1	Solaris XGL 3.3 AnswerBook	28

注 - AnswerBook (AB1) と AnswerBook2 (AB2) は次の形式のデータを指します。

- 「AnswerBook1」: Solaris 2.6 より前の Solaris で使用されていた形式の AnswerBook のデータ
- 「AnswerBook2」: Solaris 2.6 から新しく導入された SGML 形式の AnswerBook のデータ

参照方法など AnswerBook についての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版)』の「オンライン文書へのアクセス」を参照してください。

次の表に、「Solaris 7 - 8/99 Documentation CD」に含まれている、英語パッケージとその容量を示します<sup>2</sup>。これらのパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。

表 2-3 Solaris 7 - 8/99 Documentation CD のソフトウェア容量 (英語パッケージのみ)  
(単位 : M バイト)

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
[英語]			
SUNWinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection	4
SUNWabe *	AB2	Solaris 7 User Collection	16
SUNWadm *	AB2	Solaris 7 System Administration Collection	19
SUNWabsdk	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection	21
SUNWdtad *	AB2	Solaris Common Desktop Environment 1.3 Developer Collection	9
SUNWaman	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection	87
SUNWopen *	AB2	OpenBoot Collection	2
SUNWakcs	AB2	KCMS AnswerBook	2
SUNWaxg	AB1	Solaris XGL 3.3 AnswerBook	28

注 - 英語+ヨーロッパ言語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 8/99 Documentation CD」をインストールするには、この CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) を使用し、カスタムインストールで上記の文書コレクションだけを選択してインストールしてください。なお、この CD は Solaris Web Start 1.0 を使用して Solaris 7 - 8/99 ソフトウェアと同時にインストールすることはできないので、インストールするために必要なディスク容量を別に確保しておく必要があります。

次の表に、AnswerBook2 文書サーバー (以降「文書サーバー」とします) を構成するパッケージ SUNWab2r、SUNWab2s、SUNWab2u をインストールするのに必要な容量を示します。文書サーバーについての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版)』の「オンライン文書へのアクセス」および Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版) に含まれる README\_ja.html を参照してください。

2. この表では、ヨーロッパ言語のパッケージは省略しています。\*印が付いているパッケージは、Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版) には含まれていない英語のオンライン文書コレクションです。

表 2-4 文書サーバーのソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ディレクトリ	必要な容量の概算値
/	1.3
/usr	32

## Netscape Communicator CD のソフトウェア容量

次の表に、Netscape Communicator 4.51 (日本語版) をインストールするのに必要な容量を示します。

表 2-5 Netscape Communicator 4.51 のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ディレクトリ	必要な容量の概算値
/opt	25

## 日本語環境のインストール方法

この節では、Solaris 7 - 8/99 を日本語環境でインストールするための方法を説明します。日本語環境でインストールするには、大きく分けて「デフォルトロケールの設定」と「インストール言語の設定」の 2 つの設定が必要です。それ以外のインストール手順は英語版の Solaris と同じです。『Solaris 7 インストールの手引き』に書かれているインストール手順に従ってください。

なお Solaris 7 - 8/99 では、文字エンコーディングが異なる次の 3 つの日本語ロケールがサポートされています。

- 従来の EUC 環境をサポートする ja ロケール
- Solaris 2.6 から PCK 環境をサポートする ja\_JP.PCK ロケール
- Solaris 7 で新たに追加された UTF-8 環境をサポートする ja\_JP.UTF-8 ロケール

## デフォルトロケールの設定

インストール後のシステムのデフォルトロケールを設定します (具体的には、`/etc/default/init` ファイル内に `LANG` 環境変数が定義されます)。

日本語環境をインストールする場合、システムのデフォルトロケールとして必ず日本語ロケールが設定されている必要はありませんが、設定されていることを推奨します。システムのデフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていると、たとえば、システムログイン時の `LANG` の設定をユーザーごとに環境設定ファイルで定義しなくても済みます。また、`dtlogin` の言語設定で、デフォルトで日本語ロケールが設定されます。

### ■ GUI (グラフィカル・ユーザーインタフェース) インストールの場合

最初に「Select Language and Locale」画面 (以降「ロケール設定画面」とします) が表示され、ここでデフォルトロケールを設定します。日本語環境でインストールするには、「Japanese EUC (ja)」、「Japanese PC Kanji (ja\_JP.PCK)」、または「Japanese UTF-8 (ja\_JP.UTF-8)」を選択してください。どれを選択するかわからない場合は、「Japanese EUC (ja)」を選択してください。

ここでの設定は、以後起動されるインストール画面の表示言語も決定します。

### ■ CUI (キャラクタ・ユーザーインタフェース) インストールの場合

インストール中にシステムのデフォルトロケールを設定することはできません。また、インストール画面も英語による表示だけです。<sup>3</sup>

システムのデフォルトロケールをインストール後に設定、または変更する場合には、`/etc/default/init` ファイルでの `LANG` 環境変数の設定を次のようにしてから、システムを再起動します。

---

ja ロケールに設定	<code>LANG=ja</code>
ja_JP.PCK ロケールに設定	<code>LANG=ja_JP.PCK</code>
ja_JP.UTF-8 ロケールに設定	<code>LANG=ja_JP.UTF-8</code>
C ロケールに設定	<code>LANG=C</code> または、 <code>LANG=</code> の行を削除

---

また、インストール前にこのデフォルトロケールをあらかじめ設定しておくことも可能です。この事前設定をしておくと、GUI インストール時にもロケール設定画面

3. グラフィカルモニターを装備していないシステムの場合は、自動的に CUI インストールが起動します。また、「Bypass Configuration」を選択して明示的に周辺デバイスの設定を省略した場合にも、CUI インストールになります。

が表示されないため、たとえばカスタム JumpStart による自動インストールのように意図的にロケール設定画面を表示させたくない場合などに有効です。<sup>4</sup>

## インストール言語の設定

言語 (ロケール) に依存するソフトウェアパッケージ (JFP パッケージ) のインストールを決定します。日本語環境をインストールするには、必ず JFP パッケージをインストールする必要があります。JFP パッケージについての詳細は、『オンラインリリース情報』の「パッケージ情報」(package ファイル) を参照してください。

Solaris 7-8/99 では、ja ロケール環境、ja\_JP.PCK ロケール環境、ja\_JP.UTF-8 ロケール環境、そしてそれらの任意の混在環境をインストールすることが可能です。

### ■ 従来の対話式インストールの場合

「言語の選択 (Select Languages)」画面でインストールする日本語ロケールを選択します。この画面では、あらかじめ選択されたデフォルトロケールが自動的に選択された状態になっています。

たとえば、ja と ja\_JP.PCK の両ロケール環境をインストールするには、ja と ja\_JP.PCK の両方を選択します。

### ■ Solaris Web Start 1.0 インストールの場合

従来の対話式インストールと同様の方法で、Solaris ソフトウェアおよびインストールする同梱ソフトウェアの各々に対して、日本語ロケールを指定します。なお、日本語化されている製品はそのサポートロケールが表示されており、あらかじめ選択されたデフォルトロケールが自動的に選択された状態になっています。

### ■ カスタム JumpStart インストールの場合

カスタム JumpStart インストールが参照するプロファイルに locale キーワードを追加します。<sup>5</sup>

ja と ja\_JP.PCK の両ロケール環境をインストールする場合のプロファイルの例を次に示します。

---

4. デフォルトロケールの事前設定を行うには、「ネームサービスに事前に定義しておく方法」または「sysidcfg ファイルを使用する方法」の 2 通りがあります。詳しくは、『Solaris のインストール (上級編)』を参照してください。

5. locale キーワードは、JFP パッケージのインストールに影響しますが、システムのデフォルトロケールを決定するものではありません。

---

キーワード	値
install_type	initial_install
system_type	standalone
partitioning	default
cluster	SUNWCuser
locale	ja
locale	ja_JP.PCK

---

なお、このようにプロファイル中で locale キーワードを明示的に定義しない場合でも、デフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていれば、そのロケール環境が自動的にインストールされます。ただし、複数の日本語ロケール環境をインストールするには、プロファイルで指定する必要があります。

---

## オンラインリリース情報

Solaris 7 - 8/99 Software CD には、『オンラインリリース情報』がテキスト形式で提供されています。本書は、インストールに関連する情報に加えて、『オンラインリリース情報』を作成後に明らかになった情報を元に作成されているため、適宜、本書と共に以下のオンラインリリース情報を参照してください。

---

注 - Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれているオンラインリリース情報は、Solaris 7 - 5/99 のオンラインリリース情報の内容と同じです。

---

- インストールの情報と注意事項を提供する installation\_bugs ファイル

---

注 - 本書の第 3 章は、installation\_bugs ファイルの内容よりも優先されます。

---

- 実行時のバグ情報と注意事項を提供する runtime\_bugs ファイル
- 機能についての情報を提供する new\_features ファイル
- パッチ情報を提供する patches ファイル

---

注 - Solaris 7 - 8/99 に統合されているパッチの情報は、本書の付録 A をご覧ください。

---

- パッケージ情報を提供する package ファイル

- 製品の中止情報を提供する eof ファイル
- ドライバ更新情報を提供する driverupdate ファイル
- マニュアルに関する情報を提供する documentation\_issues ファイル

## 参照方法

テキストエディタや vi エディタなどを利用して各ファイルを参照することができます。インストール前などに Solaris 7 - 8/99 Software CD から直接参照するには、次のディレクトリにアクセスして各ファイルを参照してください。

```
/cdrom/ja_sol_7_899_x86/s2/Solaris_2.7/Docs/release_info/<locale>
```

Solaris CDE 環境では、フロントパネルにあるアプリケーションマネージャのアイコンを選択し、「インフォメーション」を選択することによって参照できます。各ファイルは、以下のディレクトリの下に配置されています。

- Solaris 7 - 8/99 全般の情報 - ASCII テキスト (C ロケールの場合)  

```
/usr/share/release_info/Solaris_2.7/C/
```
- Solaris 7 - 8/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - EUC テキスト (ja ロケールの場合)  

```
/usr/share/release_info/Solaris_2.7/ja/
```
- Solaris 7 - 8/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - PCK テキスト (ja\_JP.PCK ロケールの場合)  

```
/usr/share/release_info/Solaris_2.7/ja_JP.PCK/
```
- Solaris 7 - 8/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - UTF-8 テキスト (ja\_JP.UTF-8 ロケールの場合)  

```
/usr/share/release_info/Solaris_2.7/ja_JP.UTF-8/
```

## インストール方法

『オンラインリリース情報』は、次のパッケージに含まれています。

- SUNWrdm : On-Line Open Issues ReadMe (英語テキスト)
- SUNWjrdm : Japanese (EUC) On-Line Open Issues ReadMe (EUC テキスト)
- SUNWjprdm : Japanese (PCK) On-Line Open Issues ReadMe (PCK テキスト)

■ SUNWjurdm : Japanese (UTF-8) On-Line Open Issues ReadMe (UTF-8 テキスト)

---

注 - SUNWjrdm、SUNWjprdm、SUNWjurdm は、それぞれコードエンコーディングが  
違うだけで、記述されている内容は同じです。

---

「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループ (クラスタ) でインストールすると、英語版の SUNWrdm パッケージ、およびインストール言語として選択したロケールに依存する日本語パッケージが自動的にインストールされます。

「コアシステムサポート」でインストールする場合には、Solaris インストール時に「ソフトウェアのカスタマイズ」画面で、「On-Line Open Issues ReadMe (SUNWrdm)」パッケージを明示的に追加選択してインストールしてください。



## インストールに関する注意事項とバグ情報

---

この章では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、インストールに関する最新情報や既知の問題について説明します。

Solaris 全般に関する (ロケールに共通の) 情報と、日本語環境に固有の情報とを分けて説明しています。21ページの「Solaris 7 - 8/99 インストールの注意事項とバグ情報」には、Solaris 7 - 8/99 全般に関する情報が記載されています。35ページの「Solaris 7 - 8/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)」には、日本語環境に固有の情報のみが記載されています。

---

注 - 本章の内容を理解してからインストールを開始してください。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルの内容よりも優先されます。オンラインリリース情報については、18ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

---

---

### Solaris 7 - 8/99 インストールの注意事項とバグ情報

この節では、主に次の情報について説明します。

- Solaris Web Start 1.0 インストールに関する情報
- 対話式インストールに関する情報

- アップグレードに関する情報
- ハードウェアに関する情報

## Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、Solaris Web Start 1.0 を使用してインストールを行う場合に発生する問題について説明します。この節に記載されている問題は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用する場合には発生しません。

Solaris Web Start 1.0 についての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (Intel 版)』の「Solaris Web Start の使い方」を参照してください。

### ルート (/) ファイルシステムを移動できない (バグ ID: 4046659)

Solaris Web Start 1.0 ではシステムディスクを選択できますが、その後にルート (/) ファイルシステムをシステムディスクから移動できません。

回避方法 : ルート (/) ファイルシステムをシステムディスクから移動する必要がある場合は、Solaris Web Start 1.0 ではなく Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

### 製品がすべての予約領域を使用しない (バグ ID: 4059182)

Solaris Web Start 1.0 は、インストールするすべての製品に必要な合計ディスク容量に基づいてディスク容量を確保します。インストール後、製品を使用する前にディスク容量の割り当てをチェックすると、かなりの容量が未使用であるように見えます。この容量の一部は未使用のままになる場合もありますが、一部はソフトウェアを実行するときに使用されます。

回避方法 : Solaris Web Start 1.0 が必要とする容量よりも少ないディスク容量を割り当てたい場合は、Solaris Web Start 1.0 ではなく Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

## ルート (/) ファイルシステムが **HBA シリンダ 1023** を超えて配置される (バグ ID: 4062008)

Solaris Web Start 1.0 でファイルシステムを手動で配置すると、インストールプログラムの起動後、エラーメッセージが表示される場合があります。これは、ルート (/) ファイルシステムに割り当てられた領域が大きすぎるためです。

回避方法 : Solaris Web Start 1.0 を再起動し、自動ファイルシステム配置を使用してください。

## クライアントサーバーモードで **Solaris Web Start** を使用してインストールを行うと **HotJava** コンソールウィンドウに例外メッセージが表示される (バグ ID: 4248436)

クライアントサーバーモードで Solaris Web Start を使用してインストールを実行しているときに、次のような例外メッセージが HotJava コンソールウィンドウに表示されることがあります。

```
sun.applet.AppletSecurityException: checkaccess.thread
  at java.lang.Throwable.<init>(Compiled Code)
  at java.lang.Exception.<init>(Compiled Code)
  at java.lang.RuntimeException.<init>(Compiled Code)
  at java.lang.SecurityException.<init>(Compiled Code)
  at sun.applet.AppletSecurityException.<init>(Compiled Code)
  at sun.hotjava.security.PolicyUntrusted.checkAccess(Compiled Code)
  at sun.hotjava.security.HotjavaSecurity.checkAccess(Compiled Code)
  at java.lang.Thread.checkAccess(Compiled Code)
  at java.lang.Thread.stop(Compiled Code)
  at MouseOverPanel.handleMouseEnter(Compiled Code)
  at SolsticeConfTaskPage.handleEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.postEvent(Compiled Code)
  at java.awt.Component.dispatchEventImpl(Compiled Code)
  at java.awt.Container.dispatchEventImpl(Compiled Code)
  at java.awt.Component.dispatchEvent(Compiled Code)
  at java.awt.EventDispatchThread.run(Compiled Code)
Exception occurred during event dispatching:
sun.applet.AppletSecurityException: checkaccess.thread
```

例外メッセージが表示された時にマウスボタンをクリックすると、例外メッセージの表示が遅くなり、製品情報の表示が正しく更新されないことがあります。

回避方法：マウス操作に対する応答を改善し、インストール処理を最後まで行うには、HotJava コンソールウィンドウを閉じてください。製品情報の表示が正しく更新されないことがありますが、インストール処理に影響はありません。Solaris Web Start は、選択された製品をインストールしますが、複数の製品上にカーソルを動かすと、情報が正しく表示されないことがあります。

例外メッセージが出力されないようにするには、インストール前またはインストール中に HotJava コンソールウィンドウを開かないでください。

## 対話式インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、対話式インストールに関連する問題について説明します。

### Solaris dtlogin 画面

システムを初めて起動すると、どのデスクトップを使用するかにかかわらず、デフォルトでログイン画面が表示されます。使用するデスクトップを、そのログイン画面で選択することができます。またログイン画面では、ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名とパスワードが認証されると、デスクトップが表示されます。ログイン画面についての詳細は、dtlogin のマニュアルページ (Solaris CDE マニュアルページに含まれている) または『Solaris 共通デスクトップ環境 上級ユーザ及びシステム管理者ガイド』を参照してください。

### dtlogin に関するシステム管理者向けの注意事項

Solaris CDE システムを運用するシステム管理者は、Solaris CDE の GUI によるログインプログラム (dtlogin) に関する知識を持っている必要があります。『Solaris 共通デスクトップ環境 上級ユーザ及びシステム管理者ガイド』または dtlogin および dtconfig のマニュアルページを参照してください。

### ファイルシステムのマウントでエラーが発生してインストールが失敗する (バグ ID: 4164303)

次のメッセージが表示されます。

```
The Solaris operating environment on slice c0t0d0s0 cannot be upgraded.  
A file system listed in the file system table (vfstab) could not be mounted.
```

ルート (/) の i ノード用にストライプされた DiskSuite™ メタデバイスに格納されている i ノードに、インストールプログラムが割り込み、そのメタデバイスをアップグレード可能なスライスとしてマウントしようとしたと考えられます。この問題が発生した場合は、マウントが失敗してインストールが異常終了します。

## リブート後に **TotalNET Advanced Server (SunLink) ドライバ** でパニックが発生する (バグ ID: 4121961)

次のような警告メッセージが表示されます。

```
Warning: mod_install: MT-unsafe driver 'tnatp' rejected panic[cpu0] /  
thread=7051e040:mutex-enter:bad_mutex lp=1046aa20 owner=7051e040 thread=7051e040
```

ドライバの衝突が発生するため、Solaris 7 オペレーティング環境では TotalNET Advanced Server (SunLink™) をバージョン 5.2 へアップグレードする必要があります。TotalNET Advanced Server 5.0 および 5.1 では、Solaris 7 オペレーティング環境が正常にブートしません。

回避方法 : Solaris 7 オペレーティング環境をインストールする前に、インストールされている TotalNET Advanced Server のすべての構成要素をバージョン 5.2 にアップグレードする必要があります。TotalNET Advanced Server 5.2 は、Solaris Easy Access Server 2.0 CD から入手することができます。アップグレード方法については、添付のマニュアルを参照してください。

## インストールの進捗を示すスケール表示が不正確 (バグ ID: 1266156)

Solaris ソフトウェアのインストール中であるにもかかわらず、「Solaris ソフトウェアのインストール - 実行中」で表示されるスケールが、インストールが完了したことを示す場合があります。スケールがインストール完了を示した後も、インストールプログラムがパッケージを追加していることがあります。インストールが完了したかどうかを、スケール表示で判断しないでください。すべてのインストール処理が完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
インストールが完了しました
```

## アップグレードに関する注意事項とバグ情報

この節では、アップグレード時にのみ発生する問題について説明します。



---

注意 - Solaris 7 - 8/99 オペレーティング環境にアップグレードする前に、必ずバグ ID: 4121281、4258815 に関する説明をお読みください。

---

### DiskSuite でデータが失われる可能性がある (バグ ID: 4121281)

DiskSuite を使用しているシステムを Solaris 7 にアップグレードする場合、DiskSuite をバージョン 4.2 にアップグレードする必要があります。DiskSuite 4.2 には、metadb 複製の削除および交換を自動的に行う metacvt というスクリプトが含まれています。このスクリプトを使用して、metadb 複製に格納されている SCSI ドライバ名を cmdk から sd に変更できます。

回避方法 : Solaris 7 オペレーティング環境へのアップグレード中にデータを損失しないようにするには、DiskSuite が動作している x86 システムのアップグレードを開始する前に、メタデバイス構成をテキストファイルに保存し、metadb 複製を削除してください。x86 システムのアップグレード後に、DiskSuite のコマンド行インタフェースを使用してメタデバイス構成を復元してください。

『Solstice DiskSuite 4.2 ご使用にあたって』には、metadb 構成の保存、metadb 複製の削除、x86 システムの Solaris 7 オペレーティング環境へのアップグレード、DiskSuite のバージョン 4.2 へのアップグレード、メタデバイス構成の復元について、それぞれの手順が記載されています。Solaris 7 オペレーティング環境には、これらの手順を自動化する Bourne シェルスクリプトが含まれています。

なお DiskSuite 4.2 は、Solaris Easy Access Server 2.0 CD から入手することができます。

### ディスクレスクライアントのインストールでサーバー上の dfstab ファイル内の変更が保存されない (バグ ID: 4045544)

ディスクレスクライアントを持つサーバーの Solaris オペレーティング環境をアップグレードするとき、/usr に対する dfstab 行のオプションが保存されません。たとえば、dfstab ファイルに次のように入力したとします。

```
share -F nfs -o rw /export/exec/Solaris_2.7_sparc.all/usr
```

アップグレード時に、このエントリが自動的に次のように置換されてしまいます。

```
share -F nfs -o ro /export/exec/Solaris_2.7_sparc.all/usr
```

回避方法：ディスクレスクライアントまたは Solstice™ AutoClient™ を持つ OS サーバーで Solaris オペレーティング環境をアップグレードする前に、各クライアントの /etc/dfs/dfstab ファイルのバックアップを取っておいてください。

### 複数のアーキテクチャを持つサーバーにパッチを適用できない (バグ ID: 1249343)

複数の SPARC カーネルアーキテクチャのディスクレスクライアントを持つサーバー (たとえば、sun4c、sun4d、sun4m アーキテクチャのディスクレスクライアントを持つ sun4u サーバー) をアップグレードした後、サーバーとはカーネルアーキテクチャが異なるクライアントの SUNWkvm パッケージには、パッチを適用できません。

回避方法：SUNWkvm に関連するパッチを適用する前に、手動ですべての SUNWkvm パッケージを追加してください。

```
# pkgadd -d SUNWkvm.*
```

### アップグレードできるシステムがディスク容量不足のためにアップグレードできないと間違っ判断される (バグ ID: 4041733)

アップグレードプログラムは、Solaris ソフトウェアのシステムをアップグレードするために必要な容量よりも 30% 多くの容量を見積もります。したがって、アップグレードできるシステムでも、パッケージの選択を解除したり、容量を増やしたりしないとアップグレードできない場合があります。

回避方法：手動でファイルシステムのディスク容量を再度割り当ててください。または、「ソフトウェアのカスタマイズ」メニューを選んで、不要なソフトウェアパッケージを削除してください。

## サーバーをアップグレードしたときに一部のパッチがクライアントに適用されない (バグ ID: 4175220)

サーバーをアップグレードしたときに、Solaris 7 - 8/99 Software CD の Patches ディレクトリにあるパッチがサーバー上のクライアント OS へ自動的に適用されません。

回避方法: サーバーのアップグレードが完了した後に、Patches ディレクトリにあるパッチをサーバー上のクライアント OS に適用してください。

## ヨーロッパ言語ロケールでのアップグレード中にエラーが発生する (バグ ID: 4230247, 4225787)

オペレーティング環境を Solaris 7-3/99 または Solaris 7-5/99 から Solaris 7-8/99 へアップグレードすると、次に示すようなエラーメッセージがアップグレードログに記録されます。

```
Doing pkgadd of SUNWplow to /.
pkgadd: ERROR: unable to create package object
</a/usr/openwin/share/locale/de.ISO8859-15>.
    file type <s> expected <d> actual
    unable to remove existing directory at
</a/usr/openwin/share/locale/de.ISO8859-15>
....
Installation of <SUNWplow> partially failed.
pkgadd return code = 2

Doing pkgadd of SUNWpldte to /.
WARNING: /a/usr/dt/appconfig/types/de.ISO8859-15
may not overwrite a populated directory.
.....
pkgadd: ERROR: /a/usr/dt/appconfig/types/de.ISO8859-15
could not be installed.
.....
Installation of <SUNWpldte> partially failed.
pkgadd return code = 2
```

アップグレードログに示されているディレクトリは、パッチによってシンボリックリンクからディレクトリに変更されます。この変更がアップグレード時にインストールしようとしたパッケージに含まれていないため、上記のエラーメッセージが出力されます。ただし、アップグレードしたシステムのオペレーティング環境に対して、このエラーによる影響はありません。

回避方法: 問題は発生しないので、このエラーメッセージは無視してください。



## ディスク容量の再配置を行うアップグレードで一部の日本語パッケージが削除される (バグ ID: 4258815)

ディスク容量の再配置 (/usr パーティションをサイズ変更または移動する) 機能を使用してアップグレードを実行すると、一部の日本語パッケージがシステムから削除されます。パッケージデータベースではそれらの日本語パッケージがインストールされていると示されますが、実際にはファイルシステム上にインストールされていません。

英語版だけがインストールされているシステムでは、この問題は発生しません。

回避方法: 次に示す方法があります。

- ネットワーク上でインストールサーバーまたはブートサーバーを使用してアップグレードする場合

アップグレードを行う前に、Solaris 7 - 8/99 ソフトウェアのインストールサーバーまたはブートサーバーに、パッチ 108176-01 を必ず適用してください。

このパッチは、<http://access1.sun.com/> からダウンロードできます。パッチを [access1.sun.com](http://access1.sun.com) から入手できない場合は、ご購入先にお問い合わせください。

パッチをインストールサーバーまたはブートサーバーに適用するには、次のコマンドを実行します。

```
# patchadd -C path_to_image/Tools/Boot 108176-01
```

- Solaris 7 - 8/99 Software CD を使用してアップグレードする場合
  - アップグレード前に手作業でファイルシステムのサイズを調整する:
    1. システムをバックアップします。
    2. `format` コマンドを使用して、インストールプログラムで示された数値に従って、ファイルシステムのサイズを調整します。
    3. 新しいファイルシステム上にシステムを復元します。
    4. アップグレードを開始します。上記の手順でアップグレード前にファイルシステムを調整することによって、アップグレードに必要な容量が確保されているので、ディスク容量の再配置を行わないアップグレードが実行されます。
  - 足りないパッケージをアップグレード後にインストールする:
    1. 足りないパッケージを特定します。

`/var/sadm/system/admin/upgrade_script` の `do_pkgadd` 行に記述されていないパッケージで、`/var/sadm/pkg` ディレクトリにある `pkginfo` ファイル中の `SUNW_LOC` 行に、日本語ロケール (`ja`、`ja_JP.PCK`、`ja_JP.UTF-8`) が記述されているパッケージです。

以下のようなシェルスクリプトを記述すると、足りないパッケージの特定を自動的に行うことができます。

```
#!/bin/sh

PATH=/usr/bin
export PATH

TMP_VAR=/tmp/list.var.$$
TMP_UPG=/tmp/list.upg.$$

trap "rm -f $TMP_VAR $TMP_UPG" 1 2 3 15

grep SUNW_LOC=ja /var/sadm/pkg/*/pkginfo \
| sed -e 's/\var\sadm/pkg\/' -e 's\/pkginfo:.*\/' \
| sort > $TMP_VAR

awk '/do_pkgadd[^()]/ { print $3 }' /var/sadm/system/admin/upgrade_script \
| sort > $TMP_UPG

comm -23 $TMP_VAR $TMP_UPG

rm -f $TMP_VAR $TMP_UPG
```

上記スクリプト `findpkg.sh` を作成した場合の実行例は、次のとおりです。

```
# /usr/bin/sh findpkg.sh > pkg_to_add
```

2. `/tmp/admin` として `admin` ファイルを作成して、以下の内容を記述します。

```
instance=overwrite
mail=
setuid=nocheck
action=nocheck
conflict=nocheck
```

`admin` ファイルの作成方法についての詳細は、`admin(4)` を参照してください。

3. 足りないパッケージをインストールします。インストールする各パッケージに対して次のコマンドを実行します。

```
# pkgadd -a /tmp/admin -d /cdrom/cdrom0/Solaris_2.7/Product package_name
```

*package\_name* には、インストールするパッケージの名前を指定します。

上記のスクリプトを記述する例で *pkg\_to\_add* ファイルを作成している場合は、次のコマンドを実行します。

```
# pkgadd -a /tmp/admin -d /cdrom/cdrom0/Solaris_2.7/Product `cat pkg_to_add`
```

---

注 - Solaris 7 - 8/99 ソフトウェアが CD-ROM 以外の場所にマウントされている場合は、*-d* オプションの引数として、*Solaris\_2.7/Product* ディレクトリへの絶対パスを指定してください。

---

### Solaris 7 からのアップグレード後に、SUNWjvrt へのシンボリックリンクがなくなる (バグ ID: 4259033)

Solaris 7 オペレーティング環境から、ディスク容量の再配置機能を使用してアップグレードを実行すると、シンボリックリンクがなくなるために Java 関連コマンドが見つからなくなります。

回避方法: 以下の手順でシンボリックリンクを復元します。

1. パッケージ SUNWjvdev および SUNWjvrt を削除します。

```
# pkgrm SUNWjvdev SUNWjvrt
```

2. パッケージ SUNWjvrt および SUNWjvdev を再インストールします。

```
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/s0/Solaris_7 SUNWjvrt SUNWjvdev
```

## インストール全般に関するバグ情報

### ファイルシステムの作成時に警告メッセージが出力されることがある (バグ ID: 4189127)

インストール中にファイルシステムを作成しているときに、次のどちらかの警告メッセージが出力されることがあります。

```
Warning: inode blocks/cyl group (87) >= data blocks (63) in last
cylinder group. This implies 1008 sector(s) cannot be allocated.
```

```
Warning: 1 sector(s) in last cylinder unallocated
```

作成中のファイルシステムと等しい容量が、使用しているディスク上の領域に割り当てられない時に、上記の警告メッセージが表示されます。この場合、ディスク上に未使用の領域ができ、その領域は作成中のファイルシステムに取り込まれません。また、この未使用のディスク領域は、他のファイルシステムでも利用されません。

回避方法: 問題は発生しないので、上記の警告メッセージは無視してください。

### インストール中にフォントパッケージに関連する警告が発生する (バグ ID: 4226416)

以下の警告メッセージが表示されます。警告メッセージにはすべてのロケールのフォントパッケージが示されています。このため、表示されるフォントパッケージが、ご利用の Solaris CD に含まれていない場合もあります。

```
Warning! It is strongly recommended that the following font package be
installed for all locales:
```

```
SUNWi1of
```

```
Warning! It is strongly recommended that the following font packages be
installed to support locales (other than ISO8859-1 locales) as needed:
```

```
SUNWi2of SUNWi2rf SUNWi4of SUNWi4rf SUNWi5of SUNWi7of SUNWi7rf
SUNWi9of SUNWi9rf SUNWjxcft SUNWkcoft SUNWettf SUNWhttf SUNW5xfnt
```

このメッセージは補助的なもので、インストールの失敗を示しているわけではありません。

回避方法：警告メッセージ中に示されているフォントパッケージをインストールすることを強くお勧めします。警告メッセージに表示されたパッケージのうち、ご使用の CD に含まれているパッケージだけをインストールすれば十分です。

## OS サーバーに **Solaris 7 OS** サービスを追加すると、追加に失敗したというメッセージが出力される (バグ ID: 4171470)

OS サーバーに OS サービスとして Solaris 7 システムソフトウェアを追加すると、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
os_server: Error: Error adding OS service Solaris 2.7 i386 i86pc:
service modification failed.
See /var/sadm/system/logs/upgrade_log for more information
(/var/sadm/install_data/upgrade_log on Solaris 2.3 or 2.4).
```

`os_server` の部分は、OS サーバーの名前になります。

上記のログファイルを見ると、次のようなメッセージで SUNWplow パッケージの追加に失敗していることがわかります。

```
Doing pkgadd of SUNWplow to /.
ERROR: attribute verification of <export/exec/Solaris_2.7_i386.all/etc/default/
init> failed
pathname does not exist
```

回避方法：エラーメッセージを無視してください。

## ユーザーが `inetd.conf` 中のデーモンとサーバーを無効に設定してもパッケージインスタンスによって上書きされる (バグ ID: 4220923)

KCMS プロファイルサーバー、フォントサーバー、CacheFS デーモン、Kerbd デーモンの行が `/etc/inetd.conf` ファイル中にすでに存在しておりコメントアウトされている場合でも、対話式インストールプログラムはそれらの行を追加します。

回避方法：テキストエディタを使用して、`/etc/inetd.conf` ファイル中の不要なエントリを削除またはコメントアウトしてください。

## AnswerBook2 に関するバグ情報

### SUNWab2r および SUNWab2s より前に SUNWab2u をインストールすると問題が発生する (バグ ID: 4230969)

pkgadd コマンドを使用して AnswerBook2 パッケージを手動でインストールする場合、SUNWab2r および SUNWab2s より前に SUNWab2u パッケージをインストールすると、次のような問題が発生します。

- インストール中に警告メッセージが表示される
- スキャンオプションによって AnswerBook1 コレクションが見つからない (認識されない)。
- マニュアル間の参照 (リンク) 先が、ローカルサーバーからではなく docs.sun.com から検索される。

回避方法: installer (Solaris Web Start 2.0) または pkgrm コマンドを使用して、パッケージ SUNWab2u、SUNWab2r、SUNWab2s を削除してください。

installer (Solaris Web Start 2.0) を使用して、正しい順番でパッケージをインストールしてください。

pkgadd コマンドを使用して手動でパッケージをインストールする場合は、次に示す順番でインストールしてください。

1. SUNWab2r
2. SUNWab2s
3. SUNWab2u

## Solstice AutoClient に関する注意事項

Solstice AutoClient は、Solaris 7 - 8/99 と同梱される SEAS 3.0 には含まれていません。以前のバージョンの Solstice AdminSuite を使用すれば、すでにインストールされているディスクレスクライアントおよび AutoClient システムを継続して利用することができます。

## ハードウェアに関するバグ情報

### kdmconfig: JumpStart インストールが pnp モニターで失敗する (バグ ID: 4166376)

プラグ&プレイモニターを使用するように JumpStart インストールを構成している場合、インストールが正しく行われません。インストールされたシステム上のモニター情報が不完全になります。

回避方法: JumpStart インストールを、周波数が多い同等のモニターを使用するように構成してください。

---

## Solaris 7 - 8/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)

この節では、日本語環境に固有の次の情報について説明します。

- Solaris Web Start 1.0 インストールに関する情報
- アップグレードに関する情報
- インストール全般に関する情報

### Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、Solaris Web Start 1.0 を使用する場合のインストールに関する、日本語環境に固有の問題について説明します。この節に記載されている問題は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用するときには発生しません。

#### システムの最小要件

Solaris Web Start 1.0 を使用するには、システムが次の要件を満たしている必要があります。

- 1.05G バイト以上の容量を持つブートディスク  
Solaris Web Start 1.0 を実行するには、1.05G バイト以上のブートディスク (フォーマット済み、ラベル指定済み) が必要です。このディスクをもとにして、

プログラムは、選択した製品をインストールするためのディスク容量がシステムにあるかどうかを調べます。サーバーソフトウェアをインストールするには、4.2G バイトのディスクを推奨します。

- 日本語ロケールで 64M バイト以上、英語ロケールで 48M バイト以上の物理メモリー (RAM)

Solaris Web Start 1.0 を、日本語ロケール (日本語表示) で実行するには 64M バイト以上、英語ロケール (英語表示) で実行するには 48M バイト以上の物理メモリーが必要です。

システムがこれらの要件に適合しない場合は、Solaris Web Start 1.0 の代わりに、Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

なお、英語ロケール (英語表示) で Solaris Web Start 1.0 を実行して日本語環境をインストールするには、以下の手順で行なってください。

1. インストールの始めに表示されるデフォルトロケール画面で英語ロケールを選択します。
2. 各ソフトウェアに対して、インストール言語として日本語ロケールを明示的に指定します。
3. インストールが完了したらシステムを再起動し、システムデフォルトロケールを日本語ロケールに設定します。

## 日本語の AnswerBook 文書や Netscape Communicator 4.51 をインストールする場合の注意事項

Solaris 7 - 8/99 Documentation CD (日本語版) に含まれている AnswerBook 文書、および Netscape Communicator 4.51 の日本語パッケージは、各日本語ロケールで共通のものです。これらを Solaris Web Start 1.0 のカスタムインストールによってインストールする場合、ソフトウェアの選択画面で複数の日本語ロケールが表示されますが、どれか 1 つのロケールが選択されていれば、必要な日本語パッケージがインストールされます。

## メモリー不足により Solaris Web Start 1.0 を継続できない (バグ ID: 4062728)

Solaris Web Start 1.0 の使用中に次のいずれかの警告メッセージが表示され、設定操作を継続できなくなる場合があります。



このシステムには Solaris Web Start を実行するために十分なディスク領域がありません。

ディスク容量が不足しているため、選択したすべてのソフトウェアをインストールできません。  
インストールするソフトウェアの数を減らしてください。

ソフトウェアのインストールに十分なディスク容量があるにもかかわらず、これらのメッセージが表示された場合は、Solaris Web Start 1.0 を実行するためのメモリーが不足している可能性があります。

たとえば、64M バイト以下のメモリーを持つシステムでヘルプの参照や設定操作を何度も繰り返した場合などに、メモリー不足が発生します。

回避方法 : HotJava をメニューから終了し、Solaris Web Start 1.0 を再起動してください (ブラウザ画面左上にあるボタンメニューから「終了」を選択し、次に表示されるポップアップ画面で「継続」を選択します)。

それでも同じ状況になってしまう場合には、対話式インストールを行うか (Solaris Web Start 1.0 の初期画面で「終了」ボタンを選択します)、英語表示で Solaris Web Start 1.0 を実行してください。

## スワップ不足によって **Solaris Web Start 1.0** が同梱のソフトウェアのインストールに失敗する (バグ ID: 4177538)

同梱されている CD を Solaris Web Start 1.0 でインストール中にスワップ不足が発生し、コンソールに次のエラーメッセージが繰り返し表示されて、インストールに失敗することがあります。また、このエラーメッセージが文字化けすることがあります。

```
MYRun Error:java.io.IOException: not enough disk space
```

これは、64M バイト以下の物理メモリーのシステムに、同梱の多くのソフトウェアをインストールする場合に発生します。

回避方法 : 以下のいずれかの方法で対処してください。

### ■ 回避方法 1

1. 端末エミュレータなどで reboot コマンドを実行してシステムをリブートします。

システムがリブートすると、Solaris Web Start 1.0 がリブート前の状態で起動されます。

2. 「再開」ボタンをクリックして、インストールを続行します。

リポート前にインストールが完了したソフトウェアについて、インストールが失敗したように Solaris Web Start 1.0 の画面に表示されることがありますが、インストールは完了していますので問題ありません。

#### ■ 回避方法 2

Solaris Web Start 1.0 のカスタムインストールでインストールを最初からやり直してください。その際に、物理メモリーとスワップ領域の合計サイズが SPARC システムの場合は最低 224M バイト、Intel システムの場合は最低 256M バイトになるように、スワップ領域のサイズを確保してください。

## アップグレードに関する注意事項とバグ情報

アップグレードに関する、日本語環境に固有の問題について説明します。

### Solaris 7 アップグレードインストールのサポート範囲

Solaris 7 をアップグレードオプションによってインストールする場合、Solaris 2.5 以降のシステムからのアップグレードをサポートします。それより前のリリースからのアップグレードは保証されません。

### アップグレードでのロケールサポート

アップグレード時に新たなロケールサポートを追加できます。その場合「言語の選択」画面で追加したいロケールを追加選択します。

なお、現在インストールされているロケールをアップグレード時に削除することはできません。また、現在インストールされているロケールとは異なるロケールへアップグレードすることはできません。たとえば、ja ロケールだけをインストールしたシステムを ja\_JP.PCK ロケールだけのシステムにアップグレードすることはできません。

### 「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」が入ったシステムからのアップグレード

Solaris 2.5.1 に同梱されていた「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」がインストールされているシステムを Solaris 7 にアップグレードする場合、それをサポートするパッケージ (SUNWjpr、SUNWjpu、SUNWjpxw) は自動的に削除されま

す。ja\_JP.PCK ロケール環境をインストールするには、「言語の選択」画面で「Japanese PC Kanji (ja\_JP.PCK)」を追加選択してください。

## アップグレードで、swap パーティションがなくなる場合がある (バグ ID: 4065574)

ディスク容量の再配置機能 (DSR: Disk Space Reallocation) を使用してアップグレードを行うと、swap パーティションがなくなる場合があります。

回避方法: アップグレードが終了した後、スワップファイルを作成し、スワップ領域を追加してください。詳細は swap (1M) のマニュアルページを参照してください。

## OS サービスを追加するために必要なファイル記述子が、ファイル記述子のデフォルトの制限値を超えている (バグ ID: 4256205)

日本語ロケールで OS サービスをインストールするとき、ファイル記述子のデフォルトの制限値を超えることは可能ですが、制限値を超えた場合は /var/sadm/system/upgrade\_log ファイルに次のようなメッセージが出力されます。

```
Doing pkgadd of SUNWxilr1 to /.
ld.so.1: internal: malloc failed
Killed
pkgadd: Error: postinstall script did not complete successfully

Installation of <SUNWxilr1.2> partially failed.
pkgadd return code=2
```

回避方法: OS サービスを追加する前に、ファイル記述子のデフォルトの制限値を大きくしてください。

1. ファイル記述子のデフォルトの制限値を大きくするには、/etc/system ファイルに以下の行を追加し、-r オプション付きでシステムをリブートします。

```
set rlim_fd_cur=0x80
```

2. システムをリブート後、ファイル記述子のデフォルトの制限値が **64** から **128** に変更されていることを確認します。  
以下のように、C シェルの limit コマンドを使用します。

```
# limit descriptors
descriptors      128
```

または、sysdef コマンドを使用しても確認することができます。

```
# sysdef | grep descriptors
0x00000080:0x00000400  file descriptors
```

## インストール全般に関する注意事項とバグ情報

日本語環境に固有のインストールに関する注意事項とバグ情報について説明します。

### スワップ不足によって Solaris Web Start 2.0 インストールが失敗する (バグ ID: 4166394)

同梱されている CD をその CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) を使用して日本語ロケール (日本語表示) でインストールしている時に、スワップ容量が不足したためにインストールが失敗することがあります。この場合、コンソールにエラーメッセージが表示されますが、そのエラーメッセージが次のように文字化けします。

```
RunCmd Error:java.io.IOException: ??????????????????????
```

回避方法 : 同梱されている CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 は、実行時におよそ 50M バイトのメモリーを消費します。Solaris Web Start 2.0 を使用してインストールする場合は、`swap -s` コマンドなどで空きスワップ容量を確認し、不足している場合は、メモリーの消費量が多いアプリケーションを終了するか、あるいはスワップファイルを作成してスワップ領域を追加してください。詳細は `swap(1M)` のマニュアルページを参照してください。

## デフォルトロケールに関係なくインストールログが **EUC** テキストファイルで生成される

選択したデフォルトロケールに関係なく、install\_log、upgrade\_log などの Solaris のインストールログファイルは、EUC (ja ロケール) テキストとして生成されてしまいます。なお、同梱のソフトウェアを Solaris Web Start でインストールした場合に生成されるログファイル bundled\_install\_log は、デフォルトロケールで選択した文字エンコーディングのテキストで生成されます。

回避方法: コードコンバータで変換して参照するか、たとえばテキストエディタなどの GUI ツールを ja ロケールで起動して参照してください。

## Solaris 2.5.1 システム上への Netscape Communicator 4.51 のインストール

Solaris 2.5.1 オペレーティング環境のシステム上に Solaris Web Start 2.0 インストールプログラム (installer) を使用して、Netscape Communicator 4.51 をインストールする場合には、必ず /cdrom/ja\_netscape/Patches/i386/Sol\_2.5.1 に含まれる 3 つのパッチをインストールしてから、Solaris Web Start 2.0 を実行してください。

また、Solaris 2.5.1 システム上にインストールしたパッケージを削除するには、pkgrm コマンドを使用してください。

## Solaris 7 でサポートされる日本語入力システムとその切替方法

Wnn6、ATOK8、cs00 が日本語入力システムとして利用できます。これらは Solaris 7-8/99 Software CD に含まれており、「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループでデフォルトでインストールされます。

環境ファイルを特に設定していない場合のデフォルトの日本語入力システムは、Wnn6 です。Wnn6 がインストールされていない場合は、ATOK8 がデフォルトとなります。

現在使用している日本語入力システムを他の入力システムに切り替える場合は、ワークスペースメニュー (OpenWindows 環境の場合は「ワークスペース」→「ユーティリティ」) の「日本語入力システムの切替」から利用したい日本語入力システムを選択し、ウィンドウシステムを再起動してください。また、直接コマンド行から wnn6setup、atok8setup、または cs00setup と入力して、設定を切り替えることもできます。この場合もウィンドウシステムを再起動してください。

## 使用しない日本語入力システムをインストールしない方法

使用しない入力システムは、インストール時に「ソフトウェアのカスタマイズ」画面でそのクラスタ (またはパッケージ) の選択を解除することによって、インストールしないようにできます。たとえば、cs00 を使用しない場合は「Japanese Input System - cs00」の選択を解除します。

ただし、アップグレードインストールの場合に、これまで使用していた ATOK8 または cs00 の選択を解除すると、システム上からその入力システムをサポートするシステムファイルも削除されてしまいます。このため、単語を追加登録したシステム辞書などの保存しておきたいファイルがある場合は、アップグレード前にファイルを保存するか、あるいはアップグレードインストール時に、使用しない日本語入力システムを含めてインストールし、アップグレードインストール後に必要なファイルを保存した後に、pkgrm コマンドでそのパッケージを削除してください。

## cs00 に関するインストール時の注意事項

Solaris 2.6 から、cs00 は「コアシステムサポート」ソフトウェアグループには含まれなくなりました。Solaris 2.5.1 以前の「コアシステムサポート」でインストールされたシステムをアップグレードすると、システム上から cs00 をサポートするシステムファイルが削除されますので注意してください。

cs00 を利用する場合は、「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループを選択するか、インストール時に「Japanese Input System - cs00」クラスタを追加選択するか、インストール後に pkgadd コマンドにより次のパッケージをインストールしてください。

- SUNWjc0r : Japanese Kana-Kanji Conversion Server cs00 Root File
- SUNWjc0u : Japanese Kana-Kanji Conversion Server cs00 User Files
- SUNWjc0w : Japanese cs00 user dictionary maintenance tool for OPEN LOOK
- SUNWjc0d : Japanese cs00 user dictionary maintenance tool for CDE Motif

なお、かな漢字入力機能を持たない漢字表示可能な端末および端末エミュレータ上で日本語を入力するためのフロントエンドプロセッサ m1e を利用する際にも、cs00 が必要になります。

## 日本語 106/109 キーボードに関する注意事項

Solaris 7 のデフォルトのキーボードは US-English タイプになっているため、構成用補助ブートフロッピーディスクの「Identified Devices」画面で以下のように表示されます。

```
ISA: System keyboard (US-English)
```

日本語 106/109 キーボードを使用している場合は、F4-Device Tasks を選択し、「Set Keyboard Configuration」で「Japanese (106)」を選んでください。このとき、次のような指示が表示されます。F2-Continue を押して「101 形式」を選んでください。

```
To select the Windows 104-key keyboard format, choose Continue.  
To select the default 101-key keyboard format, choose Cancel.
```

設定後は、「Identified Device」画面で次のように表示されます。

```
ISA: System keyboard (Japanese(106))
```

注 - 日本語 109 キーボードで追加された Windows キーは Solaris 7 では使用できません。日本語 109 キーボード上では、日本語 106 キーボードと同じ機能が利用可能です。

## ブート時に周辺デバイスの設定不備を告げるメッセージが表示される

日本語 106/109 キーボードを使用しているシステムの場合、Configuration Assistant で「Japanese (106)」を選択しないでインストールを行うと、Solaris のブート時に、周辺デバイスの設定不備の可能性を示す次のメッセージが表示されます。

```
The peripheral device configuration may be incomplete or incorrect...
```

この場合、Japanese (106) として設定し直してください。次回のブート以降はこのメッセージは表示されなくなります。

## 日本語キーボード入力

Solaris 7 をインストールする前に日本語 106 キーボードを利用すると、一部キーボード上の印字と実際の入力が異なります。次の表を参照してください。

表 3-1 日本語キーボード上の印字と実際の入力文字

OADG 規格の日本語キーボード上の印字	実際の入力文字
“	@
&	^
’	&
(	*
)	(
Shift-0	)
=	-
~	+
^	=
¥	割り当てなし
	割り当てなし
@	[
’	{
[	]
{	}
+	:
:	’
*	“
]	\
}	
-	割り当てなし
\	割り当てなし
半角 / 全角	~
Shift-半角 / 全角	’



## 実行時の注意事項とバグ情報

---

この章では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `runtime_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、実行時のバグ情報と注意事項について説明します。オンラインリリース情報については、18ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

Solaris 全般に関する情報と、日本語環境に固有の情報とを分けて説明しています。45ページの「Solaris 7 - 8/99 実行時の注意事項とバグ情報」には、Solaris 7 - 8/99 全般に関する情報が記載されています。53ページの「Solaris 7 - 8/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)」には、日本語環境に固有の情報のみが記載されています。

---

注 - この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `runtime_bugs` ファイルの内容を補足するものです。

---

---

### Solaris 7 - 8/99 実行時の注意事項とバグ情報

この節では、Solaris 7 - 8/99 実行時の注意事項およびバグ情報について説明します。

## Solaris CDE に関するバグ情報

### ISO8859 で定義されている ISO-8859-1 以外のロケールでは、電子メールを dtmail で印刷できない (バグ ID: 4072209)

ru、hr、pl など、ロケールが ISO-8859-1 以外の場合、dtmail で電子メールを印刷することができません。

---

注 - 日本語のロケールは、このバグの影響を受けません。

---

回避方法: 電子メールをファイルに保存し、そのファイルを、dtpad または lp コマンドを使用して印刷してください。

### フロッピーディスクのフォーマットウィンドウが終了しない (バグ ID: 4211612)

ファイル・マネージャを使用してフロッピーディスクのフォーマットをする場合、フォーマットウィンドウが繰り返し表示されて、フォーマットができないことがあります。

回避方法: 以下のようにして、いったんコマンド行からフロッピーディスクを取り出し、フォーマットウィンドウを終了してください。

```
% eject
```

その後、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』の「コマンド行でのフロッピーディスクのフォーマットと使用方法」を参考にして、コマンド行からフロッピーディスクをフォーマットしてください。

## システム管理に関するバグ情報

### /var/adm/message ファイル中のタイムスタンプが不正確 (バグ ID: 4216235)

netinstall 実行後の最初のブートに関する情報を表示した場合、/var/adm/messages ファイル中のシステム時間が不正確で

す。/var/adm/messages ファイルの一部を例として示します。この例では、システム時間が後の (遅い) 時刻になっていることがわかります。

```
Jun  1 22:05:07 sunergy2 unix: mem = 49152K (0x3000000)
Jun  1 22:05:07 sunergy2 unix: avail mem = 44359680
Jun  1 22:05:07 sunergy2 unix: root nexus = SUNW,SPARCclassic
Jun  1 17:39:59 sunergy2 unix: iommu0 at root
Jun  1 17:39:59 sunergy2 unix: :
Jun  1 17:39:59 sunergy2 unix: obio 0x10000000
Jun  1 17:39:59 sunergy2 unix:
Jun  1 17:39:59 sunergy2 unix: sbus0 at iommu0
```

回避方法: 不正確なメッセージを削除してもかまいません。

## ブート後に **UFS** 割り当てが使用可能にならない (バグ ID: 4226352)

/etc/vfstab ファイル中に、ディスク割り当て使用可能としてリストされている UFS ファイルシステムがある場合、以下の処理を行なってください。以下の処理を行わないと、システムをブート後にディスク割り当てが自動的に使用可能になりません。

回避方法: 使用可能にするディスク割り当てに対して `quotacheck -a` と `quotaon -a` コマンドを実行してください。このコマンドを実行しないと、ディスク割り当てが使用不可のままです。

## リモートコンソールに関するバグ情報

### `init` がシリアルディスプレイからのキャリアの脱落を認識しないのでデフォルトのコンソールに戻らない (バグ ID: 4191023)

キャリアが失われたときつまり (ログイン時に経由したデフォルトのコンソール上または補助コンソール上にはない) シリアルポートとの接続が切れたときに、そのシリアルポートから `init` コマンドを実行してシステムをシングルユーザーモードまたは管理モードにした場合、システムをリブートする前にそのシリアルポート上にキャリアが再確立されていることを確認してください。( `init` コマンドの実行対象となったポート上のみ) システムをブートする実行レベルを入力するためのプロンプトが表示されます。

回避方法: キャリアが失われた時には、シリアルポートに再接続してから、システムをリブートしてください。

### スタンドアロンのセッションから reboot コマンドを実行したときに、実行レベルを入力するプロンプトが init コマンドから表示される (バグ ID: 4191148)

init コマンドを使用するシステム管理作業を行なっているとき、reboot コマンドを実行すると init 状態 (実行レベル) を変更したデバイス上に不適當なメッセージが出力されることがあります。init s を実行するとリモートコンソール上にシングルユーザーシェルが確立され、その後システムをリブートすると、以下のようなメッセージが出力されます。

```
Enter run level
```

回避方法: 上記のような場合は、メッセージを無視してください。

### Control-D キーを押すまたは exit コマンドを実行した tty 上に表示する init コマンドの実行レベルプロンプトが変わる (バグ ID: 4196862)

デフォルトの実行レベルにするために、スーパーユーザーで Control-D キーを押すかまたはスーパーユーザーのログインプロンプトから root としてログインした後に exit コマンドを実行すると、デフォルトの実行レベルを入力するためのプロンプトが表示されます。プロンプトは、Control-D キーまたは exit コマンドが実行されたコンソール上ではなく、init コマンドが最初に実行されたコンソール上に表示されます。

pty から init コマンドを実行した場合は、/dev/console がデフォルトのデバイスになり、このデバイス上に実行レベルを入力するためのプロンプトが表示されます。リモートコンソールを実行中にスーパーユーザーとしてログインし、Control-D キーを押してシステムをブートすると、実行レベルを入力するためのプロンプトが補助コンソール上ではなくそのコンソール上に表示されます。

## 補助コンソールのポートへの接続時に `init` コマンドが実行レベルを表示しない (バグ ID: 4196993)

1 つまたはそれ以上の補助コンソールを構成している場合に、`init` コマンドが実行された補助コンソールに対する接続をキャリアが切断し、別の補助コンソールまたはデフォルトコンソールから `sulogin` シェルが終了した場合、キャリアが接続を切断したポート上に接続を再確立した後、以下のプロンプトが表示されません。

```
ENTER RUN LEVEL
```

実行レベルを指定するためのプロンプトが表示されませんが、システムは実行レベルが入力されるのを待機しています。

回避方法: キャリアが接続を切断したポートに対して接続を再度確立し、プロンプトが表示されていなくても任意の実行レベルを入力してください。

## コンソールメッセージが補助コンソールにリダイレクトされないことがある (バグ ID: 4197589)

デーモンまたはコマンドは、メッセージを表示するために明示的に `/dev/console` を使用することがあります。そのようなメッセージは、コンソールに表示されるその他のメッセージの中で表示される頻度が低いです。

回避方法: すべてのメッセージは `/dev/console` に出力されるので、これを監視できます。また、`syslog` のログファイルを監視することもできます。

## `syslog` がメッセージを `syslogd` へ送ることができないときに `/dev/syscon` へ送る (バグ ID: 4219265)

`syslogd` がコンソール上にエラーメッセージを表示する必要がある場合、これらのエラーメッセージはデフォルトの場所 `/dev/syscon` にリダイレクトされます。エラーメッセージは、機能パッチ中に含まれている構成済み補助コンソール上には表示されません。

## ファイルシステムに関するバグ情報

### UFS ファイルシステムのパニックが発生する (バグ ID: 4241656)

ディスク入出力中に、次に示すようなエラーメッセージが表示され、UFS ファイルシステムのパニックが発生することがあります。

```
panic, ufs_fault_v+0x4c:, call, real_panic_v, alloccblk:  
can't find blk in cyl .....
```

回避方法: システムをリブートし、影響を受けたファイルシステムに対して `fsck` コマンドを実行してください。パニックからシステムが回復します。

## JDK (Java Development Kit) に関する注意事項とバグ情報

### JDK 1.1.7\_07: スワップ領域が十分でない場合、Java アプリケーションでコアダンプが起きる (バグ ID: 4037312)

スワップ領域が十分でない場合、Java アプリケーションでコアダンプが起き、次のバスエラーが表示されます。

```
not enough space
```

回避方法: システムで動作しているほかのアプリケーションを終了するか、スワップ領域を追加してください。スワップ領域の追加方法については、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』を参照してください。

### JDK 1.1.7\_07: ツールカラー環境での性能を改善するためカラーマップを調整する (バグ ID: 4102599)

Java アプリケーションでの X 要求が多いと、8 ビットカラー (TrueColor または PseudoColor) 環境でときどき起動が遅くなります。処理速度の遅いマシン上では、より顕著にこの状態が現れます。起動が遅れる主な原因は、初期化時に `awt` ライブラリにより最適にディザ処理されるカラーマップの計算です。

回避方法：初期化時に計算されたカラーマップの大きさを、環境変数 VIRTUBESIZE を使用して調整してください。4 から 32 までの間の 2 の累乗数を設定してください。デフォルトは 32 です。

```
setenv VIRTUBESIZE 8
```

### **JDK 1.2.1\_02a: ローカルでないホスト上で下線付きテキストの表示が遅い (バグ ID: 4170221)**

仮想マシンを実行しているマシン以外のホストに環境変数 DISPLAY を設定しているとき、ブラウザでの下線付きテキストの表示が、下線が付いていないテキストよりもかなり遅くなります。

回避方法：リモートディスプレイを使用しないでください。

### **JDK 1.2.1\_02a: テキストのレンダリングのパフォーマンスが JDK 1.1.7 およびそれ以前のリリースよりも低下している (バグ ID: 4210230)**

JDK 1.2 では、テキストのレンダリング (描画) が JDK 1.1.7 およびそれ以前のリリースよりも遅くなっています。cg6 および ffb フレームバッファなど、ダイレクトグラフィックスアクセス (Direct Graphics Access, DGA) をサポートしているプラットフォーム上でも、同様のパフォーマンス低下が起こります。

回避方法：ソケット書き込みを 64 K バイトよりも小さい値にしてください。

## **AnswerBook2 に関するバグ情報**

### **一部のマルチバイトロケールで AnswerBook2 の印刷機能を使用できない (バグ ID: 4163661)**

韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語のページは、AnswerBook2 の印刷機能で印刷することができません。

回避方法：上記のロケールの AnswerBook2 のページを印刷するには、ご利用のブラウザの印刷機能を使用してください。

## LC\_ALL の値が C または空白以外に設定されている場合に ab2cd を開始すると TCL エラーが発生する (バグ ID: 4249211)

ab2cd コマンドで AnswerBook2 サーバーを起動したときに LC\_ALL の値が C または空白に設定されている場合、次に示すようなエラーメッセージが表示されます。

```
Internal Server Plugin Error
../dwinterp/dwinterp.cc reported

TCL script exception:

File not found: "/tmp/.ab2/data/config/dynaweb.dwc"
-----

Please notify your System Administrator.../dwsdp/dwsdpns.cc reported "Null
Pointer" exception caught in ../dwsdp/dwsdpns.cc, line 244
Please notify your System Administrator.
```

回避方法: ab2cd コマンドを実行する前に、以下のコマンドを実行してください。

```
# unsetenv LC_ALL
```

## コレクションを追加・削除した後に「再起動」をしても個人用 ライブラリに反映されない (バグ ID: 4238283)

コレクションの追加や削除を行なった後に「再起動」を実行しても、コレクションに対する変更内容が個人用ライブラリに反映されません。

回避方法: コマンド行で以下のように実行して、再起動してください。

```
# /usr/lib/ab2/bin/ab2admin -o restart
```

## Solaris 実行時バグ情報

### netstat マニュアルページが途中までしか表示されない (バグ ID: 4246745)

man コマンドでマニュアルページ netstat(1M) を表示しようとしても、途中までしか表示されません。これは C ロケールだけで発生する nroff のバグが原因です。man コマンドによって生成される nroff ファイル中に、コアダンプを発生させる不正な文字が含まれるからです。



マニュアルページ `netmask(1M)` および `m64config(1M)` の表示でも、同様の問題が起こります。

回避方法: マニュアルページ `netstat(1M)`、`netmask(1M)`、`m64config(1M)` を完全に表示するには、AnswerBook2 の Solaris 7 Reference Manual Collection 『*man Pages(1M): System Administration Commands*』をご覧ください。

---

## Solaris 7 - 8/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)

このマニュアルの作成時点では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `runtime_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、日本語環境における実行時の注意事項とバグ情報はありません。



## 製品の中止情報

---

この章では、製品の中止情報について説明します。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の eof ファイルの内容を補足するものです。オンラインリリース情報については、18 ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

### サポート中止予定のソフトウェア

#### sysidnis(1M) システム認識プログラム

将来の Solaris リリースでは、sysidnis(1M) プログラムが含まれなくなる予定です。sysidnis(1m) は、インストールおよびアップグレード中や、sys-unconfig(1M) によって構成を解除した後に、ネームサービスを構成するためのシステム認識プログラムです。

sysidnis(1M) の機能は、sysidns(1M) に含まれることになる予定です。

### XIL

XIL は将来のリリースでサポートが中止される予定です。XIL プログラムのコンパイル時に次の警告メッセージが出力されます。

```
#error: "XGL has been declared Obsolete and may not be present in
versions of Solaris after 8.
#define SUNXIL_WARNING_DISABLE (or use -D) to disable this message."
```

XIL プログラムをコンパイルするには、次のいずれかの方法で警告メッセージが出力されないようにしてください。

- **#define** をプログラムに追加する

```
#define SUNXIL_WARNING_DISABLE
```

- コンパイラ指令を使用する

```
-DSUNXIL_WARNING_DISABLE
```

## Intel 版 Solaris オペレーティング環境のコンソールサブシステムが入れ替わる

新しいコンソールサブシステムによって、SPARC システム上で使用されている同等のサブシステムとの互換性がより高くなり、将来における拡張性が高まります。またこれによって、文書化されている一部のインタフェースの他に、文書化されていないまたはサポートされていない多くのインタフェースが無効になります。

文書化されている以下のインタフェースは、今後のリリースでサポートされなくなる予定です。

- `pcmapkeys(1)`
- `loadfont(1)`
- `loadfont(4)`

キーボードをプログラミングする場合は、`pcmapkeys(1)` の代わりに `loadkeys(1)` を使用してください。コンソールモードでは、異なるフォントをビデオカードに読み込むための機構がなくなる予定です。利用できるフォントは ISO8859-1 だけです。

文書に記述されていないまたはサポートされていない以下のインタフェースは、今後のリリースで利用できなくなる予定です。

- `/usr/include/sys/kd.h` にリストされている `ioctl`s
- `/usr/include/sys/vt.h` にリストされている `ioctl`s
- 仮想端末に対するサポート
- 仮想端末をサポートするための `/dev/vt*` 特殊ファイル

コンソールの端末タイプは、AT386 ではなく sun-color に基づく予定です。



## マニュアルに関する情報

---

この章では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `documentation_issues` ファイルを作成後に明らかになった、マニュアル中の記述についての補足および訂正など、マニュアルに関する最新情報が記載されています。オンラインリリース情報については、18ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

---

注 - この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれている『オンラインリリース情報』の `documentation_issues` ファイルの内容を補足するものです。

---

### マニュアル中の訂正事項

#### 『**Solaris 7** インストールライブラリ (*Intel* 版)』(バグ ID : 4211128)

第 1 章「インストールの手順」の手順 4 の表に、システムの名前 (ホスト名) を収集するコマンドとして “`uname -u`” と記述されていますが、これは誤りです。正しくは “`uname -n`” です。





## Maintenance Update パッチリスト (Intel 版)

---

この付録では、Solaris 7 - 8/99 Software CD に含まれているパッチを記載しています。次のいずれかの方法で、パッチが適用されます。

- finish スクリプト

適用されたパッチは、Solaris 7 - 8/99 Software CD をインストールしたシステムの /var/sadm/patch ディレクトリにあります。

- フレッシュビット

パッチは、Solaris 7 - 8/99 Software CD の作成時に適用されています。これらのパッチは /var/sadm/patch ディレクトリにはありません。

showrev -p コマンドを使用すると、上記のどちらの方法でパッチがシステムに適用されているかに関係なく、システムに適用されているすべてのパッチのリストを表示できます。Solaris 7 - 8/99 Software CD にはテスト済みのパッチが含まれています。これらのパッチは、Solaris 7 - 8/99 からバックアウト (削除) することはできません。

## パッチリスト

パッチ ID と概要: 106328-05 : SunOS 5.7\_x86: Shared library patch for C++  
このパッチで修正されるバグ: 1136478 1146175 1147577 1147044 1148647 1151825 1159647 1160084  
1161999 1165177 1169658 1164100 1166414 1171426 1172054 1172379 1173166 1178171 1187592 1180564  
1184772 1182934 1174107 1193580 1194462 1195674 1232632 1232579 1232305 1223494 1259645 1262573  
1254838 1264396 1265054 4022750 4005413 4079317 4082776 4100882 4121018 4089011 4067988 4050876  
4100612 4123883 4181458 4173766 4103581 4183435 4187260 4187325 4191439 4173220 4180435 4058012  
4101606 4132688 4190043 4193618 4199857

パッチ ID と概要: 106542-06 : SunOS 5.7\_x86: kernel update patch  
このパッチで修正されるバグ: 1264344 4104844 4115711 4115715 4120985 4122009 4136059 4138467  
4139770 4143503 4147402 4152055 4155392 4163335 4165983 4166495 4167270 4168739 4170410 4170500  
4170602 4173696 4174167 4174331 4174354 4175299 4175558 4176940 4177496 4178298 4178455 4179342  
4179407 4179883 4181570 4182043 4182047 4182227 4182234 4182240 4182970 4184015 4184430 4184786  
4184788 4184852 4184877 4185110 4185366 4185742 4186155 4186202 4188005 4188212 4190083 4190138  
4190405 4190466 4190566 4190796 4190807 4190812 4190962 4190995 4191544 4192056 4192195 4192420  
4192639 4193375 4193378 4193379 4193380 4193381 4193383 4193467 4193657 4194509 4196986 4196994  
4196998 4197140 4197418 4197422 4197461 4198134 4198723 4198942 4199032 4199042 4199606 4200121  
4200447 4200817 4200972 4201921 4202082 4203157 4204046 4205009 4205612 4206401 4212524 4212620  
4212634 4212925 4214611 4214739 4217122 4219071 4223353 4224086 4226963 4233009 4236372 4238230  
4240566 4242668

パッチ ID と概要: 106734-06 : SunOS 5.7\_x86: Create a patch analyzer  
このパッチで修正されるバグ: 4170691 4175875 4178977 4132282 4186583 4186586 4186587 4186588  
4242739

パッチ ID と概要: 106737-02 : OpenWindows 3.6.1\_x86: mailtool vacation security patch  
このパッチで修正されるバグ: 4170200

パッチ ID と概要: 106794-03 : SunOS 5.7\_x86: ufsdump and ufsrestore patch  
このパッチで修正されるバグ: 4077276 4132365 4145883 4169853 4184189 4240566

パッチ ID と概要: 106821-03 : SunOS 5.7\_x86: ctl print utility patch  
このパッチで修正されるバグ: 4172142 4173334

パッチ ID と概要: 106916-02 : SunOS 5.7\_x86: dtmail in zh.GBK can't read 2.5.1 Chinese email.  
このパッチで修正されるバグ: 4182320 4231572

パッチ ID と概要: 106918-01 : SunOS 5.7\_x86: when view mails change charset, dtmail dump core.  
このパッチで修正されるバグ: 4175029

パッチ ID と概要: 106927-04 : SunOS 5.7\_x86: sdtudctool, sdtudc\_register and sdtudc\_extract patch  
このパッチで修正されるバグ: 4199125 4178971 4183926 4178952 4178964 4162315 4176705 4179808  
4192450 4189691 4212116 4209084

パッチ ID と概要: 106928-01 : OpenWindows 3.6.1 (japanese) OW ws menu bug for \_x86:  
このパッチで修正されるバグ: 4177882

パッチ ID と概要: 106931-08 : SunOS 5.7\_x86: European locale updates  
このパッチで修正されるバグ: 4179837 4175110 4193529 4203951

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 106935-03 : CDE 1.3\_x86: libDtSvc Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4181281 4167347 4191060 1194724

パッチ ID と概要: 106937-01 : SunOS 5.7\_x86: /etc/cron.d/logchecker patch  
このパッチで修正されるバグ: 4094591

パッチ ID と概要: 106939-02 : SunOS 5.7\_x86: libresolv patch  
このパッチで修正されるバグ: 4134616 4211042

パッチ ID と概要: 106941-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/makedbm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4144726

パッチ ID と概要: 106943-03 : SunOS 5.7\_x86: libnsl, rpc.nisd and nis\_cachemgr patch  
このパッチで修正されるバグ: 4152002 4157559 4161969 4162879 4186012

パッチ ID と概要: 106945-02 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/fs/fifofs patch  
このパッチで修正されるバグ: 4166116 4211236

パッチ ID と概要: 106947-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/sar patch  
このパッチで修正されるバグ: 4175435

パッチ ID と概要: 106951-06 : SunOS 5.7\_x86: linker patch  
このパッチで修正されるバグ: 4159122 4165487 4173576 4174468 4176579 4176796 4179880 4188527  
4188843 4194264 4205087 4214649 4215164 4215587 4225937 4234657 4235241

パッチ ID と概要: 106953-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/bin/uux patch  
このパッチで修正されるバグ: 4179980

パッチ ID と概要: 106961-01 : SunOS 5.7\_x86: Manual Pages for patchadd.1m and patchrm.1m  
このパッチで修正されるバグ: 4178212

パッチ ID と概要: 106968-01 : SunOS 5.7\_x86: htt server unexpectedly restart  
このパッチで修正されるバグ: 4172429

パッチ ID と概要: 106970-01 : SunOS 5.7\_x86: zh.GBK, Input Method, Alt+1 sometimes work improperly  
このパッチで修正されるバグ: 4183054

パッチ ID と概要: 106972-02 : SunOS 5.7\_x86: xetops of zh.GBK locale doesn't process TAB character  
このパッチで修正されるバグ: 4187748

パッチ ID と概要: 106979-08 : SunOS 5.7\_x86: fix for sysid  
このパッチで修正されるバグ: 4166260 1213369 4204782 4205403 4207595 4208607 4211403 4225369  
4229542 4236194 4235726

パッチ ID と概要: 106981-05 : SunOS 5.7\_x86: libthread patch  
このパッチで修正されるバグ: 4157739 4173285 4173422 4189981 4207409 4209710 4209713 4220253

パッチ ID と概要: 106986-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/uadmin and /sbin/uadmin patch  
このパッチで修正されるバグ: 4167438

パッチ ID と概要: 106988-02 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/tar patch  
このパッチで修正されるバグ: 4118310 4159872

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 107002-01 : CDE 1.3\_x86: Actions patch  
このパッチで修正されるバグ: 4157154

パッチ ID と概要: 107012-01 : CDE 1.3\_x86: sdtwebclient patch  
このパッチで修正されるバグ: 4110777 4164680 4185288

パッチ ID と概要: 107015-04 : SunOS 5.7\_x86: sd bug fixes.  
このパッチで修正されるバグ: 4170911 4165914 4170657 4182538 4165905 4171479 4232401 4220005

パッチ ID と概要: 107016-01 : SunOS 5.7\_x86: NCR pcplusmp patch  
このパッチで修正されるバグ: 4181438

パッチ ID と概要: 107017-01 : SunOS 5.7\_x86: SPWR Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4155766 4183567

パッチ ID と概要: 107019-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/in.named patch  
このパッチで修正されるバグ: 4134616

パッチ ID と概要: 107023-03 : CDE 1.3\_x86: Calendar Manager patch  
このパッチで修正されるバグ: 4184188 4117156 4230754

パッチ ID と概要: 107025-01 : SunOS 5.7\_x86: ata bug fixes.  
このパッチで修正されるバグ: 4183194

パッチ ID と概要: 107032-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/ucb/ucblinks patch  
このパッチで修正されるバグ: 4161576

パッチ ID と概要: 107034-01 : Solaris 7\_x86: xetops crashes for BIG5  
このパッチで修正されるバグ: 4188052

パッチ ID と概要: 107039-01 : SunOS 5.7\_x86: apropos/catman/man/whatis patch  
このパッチで修正されるバグ: 4107178 4154565

パッチ ID と概要: 107043-03 : SunOS 5.7\_x86: JFP install/sysadm messages patch  
このパッチで修正されるバグ: 4217570 4221453

パッチ ID と概要: 107045-01 : SunOS 5.7\_x86: Russian and Polish print failure on some printers  
このパッチで修正されるバグ: 4190105

パッチ ID と概要: 107050-01 : Solaris 7\_x86: dtlogin language menu displays wrong info  
このパッチで修正されるバグ: 4176962

パッチ ID と概要: 107060-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/bin/sort and /usr/xpg4/bin/sort patch  
このパッチで修正されるバグ: 4181185

パッチ ID と概要: 107073-01 : CDE 1.3\_x86: Spell Checker patch  
このパッチで修正されるバグ: 4185079

パッチ ID と概要: 107075-01 : SunOS 5.7\_x86: SUNWultratest doesn't support sun4us platform  
このパッチで修正されるバグ: 4190729

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 107077-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/kernel/drv/vol patch  
このパッチで修正されるバグ: 4181968

パッチ ID と概要: 107079-10 : OpenWindows 3.6.1\_x86: Xsun Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4183231 4184889 4178200 4192179 4168571 4208458 4102279 4198669  
4209569 4136721 4206665

パッチ ID と概要: 107082-06 : Motif 1.2.7\_x86: Runtime library patch  
このパッチで修正されるバグ: 4159034 4149711 4171291 4170491 4162369 4165677 4171723 4174322  
4183749 4186734 4186826 4128879 4191550 4197157 4197929 4197924 4207929 4209526 4211104 4224885  
4226996 4191346 4201602 4219810

パッチ ID と概要: 107116-02 : SunOS 5.7\_x86: LP Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4085677 4095132 4129917 4156106 4165358 4167443 4179341

パッチ ID と概要: 107118-05 : SunOS 5.7\_x86: libbsm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4166626 4167174 4168892 4172111 4172702 4174308 4179861 4182072  
4187811 4188193 4194454 4196408 4196541 4218800

パッチ ID と概要: 107120-04 : SunOS 5.7\_x86: JFP manpages patch  
このパッチで修正されるバグ: 4185342 4190255 4195644 4199110 4222912

パッチ ID と概要: 107125-02 : SunOS 5.7\_x86: JFP message files patch  
このパッチで修正されるバグ: 4195663 4240891

パッチ ID と概要: 107128-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/lib/autofs/automountd patch  
このパッチで修正されるバグ: 4188020

パッチ ID と概要: 107129-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/i86/sysdef patch  
このパッチで修正されるバグ: 4187740

パッチ ID と概要: 107137-01 : Solaris 7\_x86: Fixed Dtmial Shortcuts to be consistent with English  
このパッチで修正されるバグ: 4181490

パッチ ID と概要: 107139-01 : Solaris 7\_x86: Fixed SUNW5ttf package to display ps files  
このパッチで修正されるバグ: 4178539

パッチ ID と概要: 107149-02 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/fs/cachefs patch  
このパッチで修正されるバグ: 4170190 4171181

パッチ ID と概要: 107172-03 : SunOS 5.7\_x86: Fixes for patchadd and patchrm  
このパッチで修正されるバグ: 4186941 4176890 4190866 4150762 4193454 4194281 4194308 4224092  
4245279

パッチ ID と概要: 107179-01 : CDE 1.3\_x86: libDtHelp.so.1 patch  
このパッチで修正されるバグ: 4193245

パッチ ID と概要: 107181-06 : CDE 1.3\_x86: dtlogin patch  
このパッチで修正されるバグ: 4178402 4178408 4178415 4178431 4184874 4189472 4190072 4190214  
4201306 4205939 4198977 4225029 4225037 4213502 4170777

パッチ ID と概要: 107184-02 : SunOS 5.7\_x86: Updated Lucida Hebrew Fonts for Solaris 7

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ: 4187022

パッチ ID と概要: 107188-02 : SunOS 5.7\_x86: Miscellaneous Eastern European locale problems  
このパッチで修正されるバグ: 4174452 4179411 4138017

パッチ ID と概要: 107201-05 : CDE 1.3\_x86: dtmail patch  
このパッチで修正されるバグ: 4190570 4201459 4191180 4180102 4134913

パッチ ID と概要: 107210-06 : Solaris 7\_x86: WOS Message Updates

パッチ ID と概要: 107220-01 : CDE 1.3\_x86: dtprintinfo patch  
このパッチで修正されるバグ: 4007233 4191060 4191065

パッチ ID と概要: 107227-04 : CDE 1.3\_x86: dtwm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4169837 4209745 4212855 4230855

パッチ ID と概要: 107234-01 : OpenWindows 3.6.1\_x86: xterm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4184297

パッチ ID と概要: 107249-01 : CDE 1.3\_x86: sdtaudio patch  
このパッチで修正されるバグ: 4189907

パッチ ID と概要: 107260-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/vold patch  
このパッチで修正されるバグ: 4194660

パッチ ID と概要: 107286-01 : SunOS 5.7\_x86: passwd & pam\_unix.so.1 patch  
このパッチで修正されるバグ: 4172457

パッチ ID と概要: 107294-01 : SunOS 5.7\_x86: libgss.so.1 and gsscred patch  
このパッチで修正されるバグ: 4195223

パッチ ID と概要: 107307-01 : CDE 1.3\_x86: dtfile patch  
このパッチで修正されるバグ: 1194724 4195992 4185042

パッチ ID と概要: 107317-01 : SunOS 5.7\_x86: localeconv() returns wrong results for French  
このパッチで修正されるバグ: 4192615

パッチ ID と概要: 107323-01 : SunOS 5.7\_x86: /etc/driver\_aliases patch  
このパッチで修正されるバグ: 4193228

パッチ ID と概要: 107328-04 : OpenWindows 3.6\_x86: Common library, monitors, and configuration  
このパッチで修正されるバグ: 4187574 4205588 4202883 4218668 4220038 4058078 4166376 4229567  
4164774 4221251 4221709 4218791 4059766 4172554 4213037 4219187 4206802

パッチ ID と概要: 107331-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/ntpdate patch  
このパッチで修正されるバグ: 4201436

パッチ ID と概要: 107333-02 : SunOS 5.7\_x86: libadm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4197828

パッチ ID と概要: 107339-01 : OpenWindows 3.6.1\_x86: KCMS configure security vulnerability patch  
このパッチで修正されるバグ: 4199722

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 107391-02 : SunOS 5.6\_x86: pcplusmp patch  
このパッチで修正されるバグ: 4187580 4217634

パッチ ID と概要: 107393-05 : SunOS 5.7\_x86: bootconf bug fixes.  
このパッチで修正されるバグ: 4162292 4173065 4237204 4219717 4219988 4202793 4164753 4164755  
4195019 4208893 4230493

パッチ ID と概要: 107402-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/bin/iostat patch  
このパッチで修正されるバグ: 4085790

パッチ ID と概要: 107404-01 : SunOS 5.7\_x86: rlmmod & telmod patch  
このパッチで修正されるバグ: 4204044

パッチ ID と概要: 107410-01 : Solaris 7\_x86: dtfile Menu is localized  
このパッチで修正されるバグ: 4181159

パッチ ID と概要: 107411-03 : Solaris 7\_x86: support IBM Cp837 and Cp874 iconv modules(th\_TH)  
このパッチで修正されるバグ: 4212930 4228950

パッチ ID と概要: 107414-02 : Solaris 7\_x86: Fix Translation "Incomplete last line" in vi  
このパッチで修正されるバグ: 4202972

パッチ ID と概要: 107416-01 : Solaris 7\_x86: Result of TAB in xetops isn't the same with vi  
このパッチで修正されるバグ: 4202006

パッチ ID と概要: 107420-01 : Solaris 7\_x86: missing snapshot files  
このパッチで修正されるバグ: 4181454

パッチ ID と概要: 107431-01 : SunOS 5.7\_x86: Installer utility used by NCR breaks under Solaris 7  
このパッチで修正されるバグ: 4205603

パッチ ID と概要: 107433-02 : SunOS 5.7\_x86: ctmlp printing utility patch.  
このパッチで修正されるバグ: 4210384 4210140

パッチ ID と概要: 107439-02 : SunOS 5.7\_x86: iso8859-15 locale copy and paste fix  
このパッチで修正されるバグ: 4203951 4244676

パッチ ID と概要: 107442-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/bin/mailx patch  
このパッチで修正されるバグ: 4207629

パッチ ID と概要: 107444-05 : SunOS 5.7\_x86: packaging utilities patch  
このパッチで修正されるバグ: 4155622 4176616 4197238 4199317 4222097 4226928 4244631 4249447

パッチ ID と概要: 107447-01 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/misc/i2o\_msg patch  
このパッチで修正されるバグ: 4203495

パッチ ID と概要: 107449-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/lib/fs/cachefs/cachefsd patch  
このパッチで修正されるバグ: 4204223

パッチ ID と概要: 107452-02 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/cron patch  
このパッチで修正されるバグ: 4177427 4184825 4196408

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 107455-03 : SunOS 5.7\_x86: /usr/bin/ftp patch  
このパッチで修正されるバグ: 4138598 4193146 4197316

パッチ ID と概要: 107457-01 : SunOS 5.7\_x86: /etc/nsswitch.dns patch  
このパッチで修正されるバグ: 1194875

パッチ ID と概要: 107461-03 : SunOS 5.7\_x86: st driver patch  
このパッチで修正されるバグ: 4166568 4166574 4166583 4206636 4208102 4211607

パッチ ID と概要: 107463-01 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/sched/TS patch  
このパッチで修正されるバグ: 4201921

パッチ ID と概要: 107466-02 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/fs/hsfs patch  
このパッチで修正されるバグ: 4193932 4218422

パッチ ID と概要: 107500-02 : SunOS 5.7\_x86: koi8-R -cde & ow hanged before dtlogin screen  
このパッチで修正されるバグ: 4192535

パッチ ID と概要: 107537-01 : SunOS 5.7\_x86: kd patch  
このパッチで修正されるバグ: 4203845

パッチ ID と概要: 107552-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/bin/date and /usr/xpg4/bin/date patch  
このパッチで修正されるバグ: 4167131

パッチ ID と概要: 107554-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/kernel/drv/ipdcm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4193690

パッチ ID と概要: 107556-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/lib/libldap.so.3 patch  
このパッチで修正されるバグ: 4182937 4200010

パッチ ID と概要: 107578-01 : SunOS 5.7\_x86: japanese installer utility patch  
このパッチで修正されるバグ: 4221385

パッチ ID と概要: 107585-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/lib/vold/dev\_cdrom.so.1 patch  
このパッチで修正されるバグ: 4062297

パッチ ID と概要: 107588-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/lib/acct/lastlogin patch  
このパッチで修正されるバグ: 4212054

パッチ ID と概要: 107625-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/lib/fs/ufs/df patch  
このパッチで修正されるバグ: 4211712

パッチ ID と概要: 107629-01 : SunOS 5.7\_x86: sdtwebstart.dt 599 l10n\_euro message updates

パッチ ID と概要: 107639-01 : Solaris 7\_x86: Fix the problem with font size change in dtstyle  
このパッチで修正されるバグ: 4201168

パッチ ID と概要: 107679-02 : OpenWindows 3.6\_x86: Updated ATI video support.  
このパッチで修正されるバグ: 4212681 4206075 4228307 4233396

パッチ ID と概要: 107681-01 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/sys/msgsys patch

(続く)



続き

このパッチで修正されるバグ: 4058214

パッチ ID と概要: 107685-01 : SunOS 5.7\_x86: sendmail patch  
このパッチで修正されるバグ: 4214238

パッチ ID と概要: 107690-01 : CDE 1.3\_x86 Actions patch :  
このパッチで修正されるバグ: 4215879

パッチ ID と概要: 107692-01 : SunOS 5.7\_x86: I10n\_euro message updates for SUNW\*is SUNW\*os 599

パッチ ID と概要: 107701-01 : Solaris 7\_x86: Fixes the installation warning for zh.GBK  
このパッチで修正されるバグ: 4222076

パッチ ID と概要: 107703-01 : CDE 1.3\_x86: dtsession patch  
このパッチで修正されるバグ: 4197661

パッチ ID と概要: 107710-02 : SunOS 5.7\_x86: libssasmp/libssagent/snmpdx/mibiisa patch  
このパッチで修正されるバグ: 4144431 4166235 4171108 4172607 4176076 4178419 4185282 4186361  
4189025 4208419 4218931 4219323 4224859 4224980 4232111 4233051 4237139

パッチ ID と概要: 107712-01 : cde 1.3\_x86: sdtvolcheck patch  
このパッチで修正されるバグ: 4004473

パッチ ID と概要: 107739-01 : SunOS 5.7\_x86: Estonian locale uses incorrect codeset (QU)  
このパッチで修正されるバグ: 4192473

パッチ ID と概要: 107745-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/bin/du and /usr/xpg4/bin/du patch  
このパッチで修正されるバグ: 4221507

パッチ ID と概要: 107785-03 : SunOS 5.7\_x86: Manual Pages for Solaris 7 update 3  
このパッチで修正されるバグ: 4246662 4242931 4184788 4165909 4195648 4166583 4214692 4214697  
4167270 4169315 4180075 4193614 4189427 4173822 4186746 1070678 4136939 4153439 4162004 4171658  
4170933 4169829 4146611 4147612 4165502 4166848 4178133 4179296 4181039 4181145

パッチ ID と概要: 107793-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/bin/pax patch  
このパッチで修正されるバグ: 4061087

パッチ ID と概要: 107795-01 : SunOS 5.7\_x86: ASET patch  
このパッチで修正されるバグ: 4202027

パッチ ID と概要: 107797-01 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/fs/lofs patch  
このパッチで修正されるバグ: 4176333

パッチ ID と概要: 107800-01 : SunOS 5.7\_x86: compress/uncompress/zcat patch  
このパッチで修正されるバグ: 4217213

パッチ ID と概要: 107808-02 : OpenWindows 3.6.1\_x86: xrdb patch  
このパッチで修正されるバグ: 4221044 4237304

パッチ ID と概要: 107810-02 : SunOS 5.7\_x86: SPECIAL PATCH  
このパッチで修正されるバグ: 4234651

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 107812-01 : SunOS 5.7\_x86: Japanese iconv patch  
このパッチで修正されるバグ: 4216797 4232724

パッチ ID と概要: 107814-01 : SunOS 5.7\_x86: Japanese UTF-8 iconv patch  
このパッチで修正されるバグ: 4216797 4221058 4232724

パッチ ID と概要: 107818-01 : Solaris 7\_x86: Fix Garbage characters display  
このパッチで修正されるバグ: 4206605

パッチ ID と概要: 107835-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/include/sys/dkio.h patch  
このパッチで修正されるバグ: 4201824

パッチ ID と概要: 107837-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/format patch  
このパッチで修正されるバグ: 4165909

パッチ ID と概要: 107839-01 : SunOS 5.7\_x86: libtnfctl patch  
このパッチで修正されるバグ: 4192482

パッチ ID と概要: 107842-01 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/misc/rpcsec patch  
このパッチで修正されるバグ: 4198273

パッチ ID と概要: 107844-01 : SunOS 5.7\_x86: /sbin/init and /usr/sbin/init patch  
このパッチで修正されるバグ: 4225983

パッチ ID と概要: 107878-01 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/drv/cadp patch  
このパッチで修正されるバグ: 4232354 4218072 4213974 4215327 4217029 4211748 4202184 4210415  
4211749 4210505 4209951 4203809 4205612 4203811 4204641 4205186 4204682 4199541 4202188 4206303  
4206704 4206791 4206871 4207140 4207152 4204603 4197248 4204285 4202186 4202194 4202187 4140090  
4140102 4140103 4225895 4209852

パッチ ID と概要: 107879-02 : SunOS 5.7\_x86: /kernel/drv/ncrs patch  
このパッチで修正されるバグ: 4189732 4198547 4205488 4207541 4207848 4212991 4230280 4230283  
4009709 4011181 4017961 4155184 4173622 4215681 4230736 4165916 4174395 4165916

パッチ ID と概要: 107880-05 : SunOS 5.7\_x86: bootconf bug fixes.  
このパッチで修正されるバグ: 4202793 4164753 4164755 4195019 4208893 4230493 4237204

パッチ ID と概要: 107892-01 : SunOS 5.7\_x86: Openwindows not supported by some euro locales  
このパッチで修正されるバグ: 4174253

パッチ ID と概要: 107920-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/include/sys/mhd.h patch  
このパッチで修正されるバグ: 4236793

パッチ ID と概要: 107927-02 : SunOS 5.7\_x86: /usr/include/sys/kbio.h patch  
このパッチで修正されるバグ: 4240239

パッチ ID と概要: 107934-01 : SunOS 5.7\_x86: l10n\_euro message updates for SUNW\*is SUNW\*os 899

パッチ ID と概要: 107973-01 : SunOS 5.7\_x86: /usr/sbin/static/rcp patch  
このパッチで修正されるバグ: 4240566

パッチ ID と概要: 108000-04 : SunOS 5.7\_x86: cadp bug fixes.

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ: 4244178 4244152 4254328

パッチ ID と概要: 108030-01 : SunOS 5.7\_x86: S899 u3 prodreg fix for Java 1.1 and Java 1.2 VM

このパッチで修正されるバグ: 4244075



## Hardware Compatibility List (Intel Platform Edition) Solaris 7 3/99, 5/99, 8/99

---

この付録では、Solaris 7 - 8/99 (Intel 版) コンピューティング環境でサポートされる、新しいまたは拡張された周辺機器およびシステムプラットフォームについて説明します。

---

注 - この付録の情報は、『Solaris 7 (Intel Platform Edition) Hardware Compatibility List』の内容を補足するものです。

---

### **Solaris 7 5/99 Hardware Compatibility List**

#### ビデオデバイスのサポート

次に示すビデオデバイスがサポートされるようになりました。

表 B-1 ビデオディスプレイデバイス (5/99)

ベンダー	モデル	バス	ビデオチップ	解像度・発色数									
				800x 600		1024x 768		1152x 900		1280x 1024		1600x 1200	
				8	24	8	24	8	24	8	24	8	24
3Dlabs	Permedia 2	PCI/ AGP	3Dlabs Permedia 2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
Diamond	Fire GL 1000 Pro	AGP	3Dlabs Permedia 2	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
Matrox	Millennium G200	AGP	MGA-G200	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	Mystique G200	AGP	MGA-G200	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

## Solaris 7 3/99 Hardware Compatibility List

### ビデオデバイスのサポート

次に示すビデオデバイスがサポートされるようになりました。

表 B-2 ビデオディスプレイデバイス (3/99)

ベンダー	モデル	バス	ビデオチップ	解像度・発色数									
				800x 600		1024x 768		1152x 900		1280x 1024		1600x 1200	
				8	24	8	24	8	24	8	24	8	24
Cirrus Logic	5465 *1	PCI/ AGP	Cirrus Logic GD5465	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓	
S3	Trio3D *1	PCI/ AGP	S3 Trio3D (86E366)	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓	

\*1 Sun では、このチップを持つあらゆるビデオデバイスが動作することは保証していませんが、ユーザーがご使用のモデルは問題なく使用できることもあります。





## デバイスの構成 (Intel 版) Solaris 7 - 3/99, 5/99, 8/99

---

Intel 版 Solaris 7 - 3/99、5/99、8/99 コンピューティング環境でサポートされている x86 ハードウェアデバイスに関する情報、構成時に発生する問題の対処法を記載しています。

注 - この付録の情報は、『Solaris 7 デバイスの構成 (Intel 版)』の内容を補足するものです。

---

---

### Solaris 7 8/99

#### Adaptec AHA-2940U2B, 2940U2W, 2940U2/OEM, 2950U2B, 3950U2B HBA

Solaris デバイスドライバ:	cadp
デバイスタイプ:	SCSI-2, SCSI-3, Ultra2 SCSI
アダプタ:	Adaptec AHA-2940U2B, AHA-2940U2W, AHA-2940U2/OEM, AHA-2950U2B, AHA-3950U2B

チップ: AIC-7890AB, AIC-7891B, AIC-7896, AIC-7897

バスタイプ: PCI

## 構成の前に

- 複数イニシエータの構成はサポートされていません。
- Plug N Play SCAM サポートオプションはサポートされていません。
- 「Adaptec SCSISelect BIOS」オプションの「Reset SCSI Bus at IC Initialization」(「Advanced Configuration Options」メニュー中にある)が使用可能に設定されていることを確認してください。システムのブート中に Adaptec のバナーが表示された場合は、Ctrl-A キーを押して SCSISelect ユーティリティを実行してください。
- パッチのインストール後に、システムをリブートしてください。
- Intel 版 Solaris のアップグレードと新しいデバイスドライバの追加の両方を行う場合は、次に示す手順で、まず Solaris のアップグレードを行ってからシステムをリブートし、その後ドライバアップデートを適用してください。
  1. Solaris のアップグレードを行います。このときにはまだ cadp ドライバアップデートを適用しないでください。
  2. システムをリブートします。
  3. システムが正常にリブートされたら、ドライバアップデートのフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入し、次のようにしてドライバアップデートを適用します。

DOS フォーマットのファイルシステムをマウントします。

```
# mount -Fpcfs /dev/diskette0 /mnt
```

ディレクトリを移動します。

```
# cd /mnt/DU/sol_27/i86pc/Tools
```

ドライバアップデートをインストールします。

```
# ./install.sh -i
```

再構成リブートを実行します。

### 制限事項と注意事項

- 内部 wide インタフェース上の narrow SCSI CD-ROM ドライブを使用しているときに問題が発生した場合は、Adaptec 構成ユーティリティで、そのデバイスに対する「negotiate wide」および「negotiate sync」のどちらか一方またはその両方を使用不可にしてください。

- narrow 内部コネクタを使用しているときに問題が発生した場合は、Adaptec 構成ユーティリティで「de-selection」を使用不可にしてください。

- 富士通製 narrow ディスク (M1603SAU) は、無効なキュータグ ID で再選択することがわかっています。これは SCSI プロトコル違反なので、cadp ドライバが正しく動作しなくなります。これを防止するのは難しいので、これらのターゲットに対するタグ付きキューを使用不可にすることが最善の方法です。

富士通製 M1603S-512 ディスクがあるかどうかを調べるには `iostat -E` コマンドを使用してください。このディスクが検出された場合は、`/kernel/drv/cadp.conf` ファイルを編集して以下のプロパティを追加してください。

```
target n -scsi -options=0x1f78 (n はターゲット番号です)
```

- IBM 製外部 wide ディスク (DFHSS2W, Revision 1717) はサポートされていません。

### 構成の手順

Adaptec 構成ユーティリティを使用します。

- 各 SCSI デバイスが固有の SCSI ID を持つように構成してください。「Advanced Configuration Options」メニューで「Plug N Play SCAM Support」を「Disabled」に設定してください。

必ず SCSI チェーン上の両端のデバイスが終端になるようにしてください。同じ wide チェーン上に wide (16 ビット) と narrow (8 ビット) のデバイスが混在している場合、wide デバイスがチェーンの終端にあるようにしてください。narrow デバイスがチェーンの終端にある場合、同じチェーン上の wide デバイスは low バイトだけを終了させます。これは不正な構成です。

- 複数のコントローラ (または埋め込み型コントローラ) がある場合、1つのコントローラにつき1つの IRQ を使用するよう to してください。
- 指示があった場合、ホストバスアダプタ付きのロットに対するバスマスターを使用可能にしてください。
- 旧式のディスクドライブ、テープドライブ、大部分の CD-ROM デバイスについては、SCSI データの転送スピードの最大値を 5.0 Mbps に設定してください。
- (使用する場合は) 1 GB を超える容量のディスクのサポートを有効にしてください。

## LSI Logic (旧 Symbios Logic または NCR) 53C810, 53C810A, 53C815, 53C820, 53C825, 53C825A, 53C860, 53C875, 53C875J, 53C876, 53C895 HBA

Solaris デバイスドライバ:	ncrs
デバイスタイプ:	SCSI
アダプタ:	LSI Logic (以前の Symbios Logic または NCR) 53C810, 53C810A, 53C815, 53C820, 53C825, 53C825A, 53C860, 53C875, 53C875J, 53C876, 53C895
バスタイプ:	PCI

### 構成の前に

#### 制限事項と注意事項

- NCR BIOS と Solaris fdisk プログラムは非互換なので、Solaris ソフトウェアをインストールする前に、DOS バージョンの FDISK (またはそれと同機能のユーティリティ) を使用して FDISK パーティションテーブル中にエントリを作成してください。シリンダ 0 から始まる DOS パーティションを少なくとも 1 シリンダ作成してください。DOS パーティションが作成されていないと、Solaris をインストールした後にシステムをリブートできません。
- 53C815、53C820、53C825、53C825A コントローラ付きの add-in カードは、バスマスター PCI スロットでのみ使用できます。PCI スロットが 2 つだけのマザー

ボード上では、通常両方の PCI スロットでバスマスターが使用可能です。3 つ以上の PCI スロットを持つマザーボード上、および複数の埋め込み型 PCI コントローラを持つマザーボード上では、一部の PCI スロットのバスマスターが使用不可の場合があります。

- LSI Logic SDMS BIOS および埋め込み型 53C810 または 53C810A コントローラを持つ PCI マザーボードの一部は、53C82x ファミリの LSI Logic SDMS BIOS を持つ add-in カードと正しく動作しません。マザーボード BIOS および add-in カードあるいはどちらか一方をアップグレードすると、上記のような衝突を避けることができます。
- マザーボード上に 53C810 チップが搭載されている初期の PCI システムでは、チップ上の割り込みピンが接続されていません。このようなシステムは Solaris ソフトウェアと共に使用できません。
- narrow ディスクをサポートするとされているカードの narrow コネクタに wide ターゲットを接続しないでください。このような構成はサポートされていません。
- Solaris の ncrs ドライバは Wide SCSI オプションをサポートしていません。add-in 53C8xx カードは、narrow ケーブル (8 ビット SCSI A ケーブル) 用および wide ケーブル (16 ビット SCSI P ケーブル) 用のコネクタを含みます。SCSI P ケーブルを使用している SCSI Wide コネクタにデバイスを接続することができますが、Solaris ncrs ドライバは Wide Data Transfer オプションを開始または受け付けません。接続されたデバイスは 8 ビット narrow モードで動作します。
- ご利用のアダプタが LSI Logic SCSI Configuration ユーティリティ (Control-C キーを押してアクセスする) をサポートしている場合は、「Host SCSI ID」(「Adapter Setup」メニュー中のオプション) の値を 7 以外にしないでください。
- 旧式のターゲットデバイスで問題が発生した場合は、/kernel/drv/ncrs.conf ファイルに次のエントリを追加してください。

```
targetN-scsi-options = 0x0;
```

N には、問題が発生しているターゲットの ID を指定します。

- Conner 10805 narrow SCSI ドライブを使用している場合は、次のような警告メッセージが表示されることがあります。

```
WARNING: /pci@0,0/pci1000,f@d(ncrs0):
invalid reselection(0,0)
WARNING: /pci@0,0/pci1000,f@d/sd@0,0(sd0):
SCSI transport failed: 'reset: retrying command'
```

ncrs.conf ファイルでタグ付きキューを使用不可にすると、上記の警告メッセージが表示されないようにすることができます。詳細は、**ncrs(7D)** のマニュアルページを参照してください。

- P90 およびそれよりも低速のプロセッサを使用している Pentium マザーボード (Intel NX チップ) の一部では、ncrs がハングしてコンソールに次のようなメッセージが表示されます。

```
WARNING: /pci@0,0/pci1000,3@6(ncrs0)
Unexpected DMA state:active dstat=c0<DMA-FIFO-empty,
master-data-parity-error>
```

これは、復旧不可能な状態を示しています。システムは ncrs ドライバを使用してインストールされません。

- ncrs ドライバは 53C875 チップセット Revision 4 およびそれ以上をサポートしています。Revision 3 より前のものは、あまり普及していません。
- SDT7000/SDT9000 テープドライブを使用している場合、次のようなメッセージがコンソールに表示されることがあります。

```
Unexpected DMA state: ACTIVE. dstat=81<DMA-FIFO-empty,illegal-instruction>
```

上記のインスタンスでは、システムを回復させてテープドライブを使用できます。tar を使用して、テープドライブのテープヘファイルを追加したりテープからファイルを抽出したりできます。

## Solaris 7 5/99

### LSI Logic (Symbios) 64 ビット PCI デュアルチャネル Ultra2 SCSI 53C896 HBA

Solaris デバイスドライバ:	symhis1
デバイスタイプ:	SCSI
アダプタ:	SYM22910 (チャンネル A および B の両方が SE および LVD モードをサポート)。SYM21002 (チャンネル A は SE のみをサポート、チャンネル B は SE および LVD モードをサポート)
バスタイプ:	PCI

#### 構成の前に

##### 制限事項と注意事項

- Ultra2 SCSI LVD 転送では、必ず Ultra2 SCSI LVD 準拠の SCSI ケーブルを使用してください。最高のパフォーマンスを得られるように、デバイスを約 15 cm から 20 cm の間隔を空けて置いてください。
- 53C896 チップと古い 53C8xx チップの両方がマザーボードに組み込まれている場合、システムのブート時に BIOS システムは古い 53C8xx チップの方を先に認識します。この場合、新しい Symbios SDMS BIOS がすべての 53C8xx を認識するまでお待ちください。Symbios SDMS BIOS は、新しい 53C896 チップをサポートしています。

古い方の BIOS ユーティリティが起動しないように、コントローラの古い 53C8xx BIOS をフラッシュしてください。

最新の Symbios SDMS BIOS は、[http://www.symbios.com/techsupport/pci\\_sw.htm#Symbios CPI BIOS & Flash Utility](http://www.symbios.com/techsupport/pci_sw.htm#Symbios%20CPI%20BIOS%20&%20Flash%20Utility) からダウンロードすることができます。

- 53C896 チップのリビジョン B0 および C0 にハードウェア上の問題があるため、symhis1 ドライバが 64 ビット PCI スロットで正しく動作しません。問題が発生

したとき、symhis1 ドライバが SCSI バスをリセットします。この問題を回避するには、53C896 チップリビジョン C1 をアップグレードしてください。

53C896 チップのその他のリビジョンでも、古い PCI チップおよび設計との間に、ハードウェア互換性がない場合があります。53C896 チップの各リビジョンにおけるすべての問題を、LSI Logic の Web サイト(<http://www.lsil.com>) で参照することができます。

- LVD テクノロジーにファームウェア互換性がない場合があります。LVD SCSI バスを正しく構成しているのに SCSI エラーが発生した場合は、ご購入先にお問い合わせの上、アップデートされたハードウェアを入手してください。

---

## Solaris 7 3/99

### 物理アドレス拡張 (PAE) モード

Pentium Pro のリリース時に、物理アドレス拡張 (PAE, Physical Address Extension) モードが上位プロセッサに対して導入されました。この PAE モードを使用すると、Intel 版 Solaris は物理メモリーを最大 32 G バイトまでアドレス指定することができますようになります。個々のプロセスについては、仮想アドレス空間を最大 3.5 G バイトまでしか使用できません。

PAE モードによって、データベースやメモリーを多く使用するアプリケーションについて、複数のインスタンスを実行することができます。また、より多くのユーザーが、ネットワークを介してあるマシンを使用できるようになります。

DAC (Dual Address Cycle) をサポートする PCI ディスクコントローラを使用するのが最適です。そのような PCI ディスクコントローラは、どのような物理的な宛先とでも、データの転送 (入出力) を行うことができます。物理メモリーが 4 G バイトしかないカードでデータを転送するためには、システムがメモリーをコピーする必要があるため、パフォーマンスが低下する場合があります。





---

**注意** - PAE モードの利点を生かすことができないデバイスドライバもあります。Sun では、Sun が独自に開発した PCI デバイスドライバを、4 G バイト以上のメモリーを持つ x86 マシン上でテスト済みです。Sun の OEM 提携会社では、各会社が提供している PCI デバイスドライバを、4 G バイト以上のメモリーを持つ x86 マシン上でテストする予定です。ただし、サードパーティ製のデバイスドライバをシステムに追加すると、動作が不安定になったりパニックが発生して、データが失われることもあります。システムの動作が不安定になってもそのドライバを使用する必要がある場合は、PAE モードのサポートを無効にしてください。

---

## PAE モードのサポートを無効にする

PAE モードのサポートを無効にするには、次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. **Esc** キーを押して、自動ブートを中断します。  
Solaris Device Configuration Assistant (Solaris デバイス構成用補助) が起動します。
3. 「**Boot Solaris**」画面が表示されるまで、**[F2\_Continue]** を押します。
4. **[F4\_Boot Tasks]** を押します。  
「Boot Tasks」画面が表示されます。
5. **[View/Edit Property Settings]** を選択します。  
「View/Edit Property Settings」画面が表示されます。
6. **[F4\_Create]** を押します。  
「Create Property」画面が表示されます。
7. 「**Specify Property Name**」フィールドに `mmu-modlist` と入力して、**Enter** キーを押します。
8. 「**Specify Value**」フィールドに `mmu32` と入力して、**Enter** キーを押します。

「Updating」画面に、Updating Saved Configuration information...  
というメッセージが表示されます。プロパティと値が正しく保存されたら、  
「View/Edit Property Settings」画面が表示されます。

9. **[F2\_Back]** を押します。

「Boot Tasks」画面が表示されます。

10. **[F3\_Back]** を押します。

マシン上のドライバがロードされた後に、「Boot Solaris」画面が表示されます。

11. 通常と同じようにして、システムのブートを継続します。